

事業者・団体等の令和5年度取組実績及び令和6年度の取組予定

事業者・団体等の令和5年度取組実績及び令和6年度の取組予定

注：重点項目欄(1 地域で子どもを見守ろう/2 特殊詐欺の被害を防ごう/3 高齢者などを事故や事件から守ろう/4 鍵かけ運動を進めよう/5 その他)

| 番号 | 団体等名称 | 重点項目 | 取組 | 令和5年度に行った取組 | | | 令和6年度に行う予定の取組 |
|----|--|--------|---------------------------|---|---|---|-------------------|
| | | | | 計 | 画 | 課 題 | |
| 1 | 公益社団法人 高知県防犯協会 (正会員16団体、 賛助会員111団体) | 1 2 | 防犯思想の普及と 犯罪防止活動の推 進 | ①防犯団体等との連携の強化 ②令和5年全国地域安全運動の実施 ③「安全安心なまちづくりの日・高知県民のつどい」の開催 ④広報啓発活動の推進 ⑤薬物乱用防止活動の推進 ⑥自転車盗等街頭犯罪の防止対策と被害回復の促進 ⑦古物営業の適法適正な業務指導 ⑧強盗事件等の抑止対策 | ①地域安全活動や関係機関・団体が行う研修会等において防犯団体等との連携の強化、自主防犯意識の普及・高揚と活動を図った。 ②広告媒体を活用して全国地域安全運動を県民に広報したほか、防犯グッズ等の無償配布により地域安全活動を支援した。 ③10月6日、高知県警察共催、高知県安全安心まちづくり推進会議後援により約100名の参加を得て「安全安心なまちづくりの日・高知県民のつどい」を開催した。 ④関係機関・団体が行う各種行事において各種犯罪被害防止等の広報啓発活動を推進した。 ⑤自転車の盗難被害防止と被害の早期回復のため、迅速な自転車防犯登録に努めた。 ⑦広報啓発チラシの配付により、古物営業法の順守と適正営業を呼び掛けた。 ⑧警察署等と協力した金融機関強盗訓練の実施、量販店に練習用犯人追跡用資器材を無償配付し、積極的な訓練と事件発生時の対策を指導した。 | ○防犯ボランティアの高齢化と減少 ○強盗等重要事件に対する危機意識の希薄 | 防犯思想の普及と犯罪防止活動の推進 |
| | | | 1 2 3 | 防犯団体等が行う 防犯活動に対する 協力支援 | ①自主防犯活動、地域運動の支援 ②高齢者に対する特殊詐欺等の被害防止教室、児童対象の誘拐防止等の支援 ③青色回転灯等装備車両による防犯/パトロール活動の支援 | ①②防犯団体等が行う高齢者対象の特殊詐欺等の被害防止教室、児童対象の不審者対応訓練等に対して、「子ども見守りマニュアル」「ながら防犯実践マニュアル」「防犯手帳」や防犯グッズ等を配付して支援した。 ③ 防犯/パトロール団体に対して当協会が所有する青色回転灯等装備車両を貸与した。 | ○防犯/パトロールを支える財政基盤 |
| | | 1 4 | 少年の非行防止の 推進 | ①自転車盗難被害防止対策の推進 ②各地区の団体が行う街頭補導活動や学校での非行防止教室の支援 | ①自転車盗難被害防止モデル校等における施錠の呼び掛けを支援した。 ②「あき元気フェスタ」等の各地区で開催される地域安全の催しにおいて、自転車盗難被害防止、少年の非行防止を呼び掛けた。 ③少年警察ボランティア協会の研修会において、少年非行現状と問題について講話した。 | ○自転車盗難被害防止対策(施錠意識等)の希薄 ○少年非行の特質に適用した効果的な防止対策 | 少年の非行防止の推進 |
| | | 1 5 | 少年の健全育成活 動の推進 | ①「ふれあい少年サポート事業」の支援 ②インターネット利用に係る犯罪被害防止対策の推進 | ①4地区の「ふれあい少年サポート事業」の開催支援と参加により健全育成活動を図った。夏のボランティア体験キャンペーン事業への支援及び参加、全国規模学生ボランティア研修会へ大学生を派遣して育成を図った。 ②また、スマートフォンの適正利用を呼び掛けるチラシを作成し、非行防止教室で小・中学生に配付したほか、通信事業者、警察、関係団体と協力して登校中の学生を対象としてスマートホンの適正利用を呼び掛けた。 ③高知市市街地の風俗営業者にに対し、18歳未満の立入禁止、未成年雇用の禁止等の広報誌を配付して少年の犯罪被害防止を図った。 | ○次世代の防犯活動を担う若手ボランティア不足 ○ネット利用の危険性を周知する効果的な方策 | 少年の健全育成活動の推進 |
| | | | | | | | |

事業者・団体等の令和5年度取組実績及び令和6年度の取組予定

注：重点項目欄(1 地域で子どもを見守ろう/2 特殊詐欺の被害を防ごう/3 高齢者などを事故や事件から守ろう/4 鍵かけ運動を進めよう/5 その他)

| 番号 | 団体等名称 | 重点項目 | 取組 | 令和5年度に行った取組 | | | 令和6年度に行う予定の取組 |
|----|--|------------------|-----------|---|---|---------------------------------------|---|
| | | | | 計 画 | 実 績 | 課 題 | |
| 2 | 高知県地域安全アドバイザー連絡会 [14地区、アドバイザー16名] | 1 2 3 4 | 各種広報啓発 | 社会の情勢に応じ、従来の方法にとられない、あらゆる媒体を活用した広報啓発活動により、地域住民の安全安心まちづくりに対する意識高揚を目指す。 | イベント・防犯教室等において、各地区の犯罪発生状況に応じた地域安全ニュースの発行・配布や、個人単位で実施可能な「ながら見守り」活動により、地域住民の防犯意識の高揚を図った。 また、「地域安全ブログ」により、あらゆる世代に向けた地域安全情報の発信に努めた。 | 活動規模の拡大と感染症に配慮した活動を検討していくことが必要である。 | 社会の情勢に応じ、従来の方法にとられない広報啓発活動により、地域住民の安全安心まちづくりに対する意識高揚を目指す。 |
| | | | 各種防犯教室の開催 | 警察や学校、老人クラブ等と連携し、児童等を対象とした各種防犯教室、高齢者を対象とした犯罪被害防止教室等を開催する。 創意工夫をこらし、各種教室の内容を充実させる。 | 警察等と連携し、幼稚園、保育園及び小学校における誘拐被害防止教室、不審者対応訓練を実施した。 また、依然として高齢者を対象にATMへ誘導し、指定口座へ送金させる還付金詐欺及び架空料金請求詐欺被害が発生していることから、あらゆる機会を通じて、高齢者に対する特殊詐欺被害防止教室等を開催した。 | 老人クラブ等に参加していない高齢者等への広報啓発方法を検討する必要がある。 | 警察、学校、老人クラブ等と連携し、児童等を対象とした各種防犯教室や高齢者を対象とした犯罪被害防止教室等を開催する。 各種教室等の積極的な開催を図るとともに、創意工夫をこらし、内容を充実させる。 |
| | | | 地域安全活動の強化 | 「通学路安全の日」等各種強化日には、学校等の関係機関、保護者、地域住民、防犯ボランティア団体と連携して、安全対策に取り組む。 各種活動強化日の定着を図るため、各種広報紙や会議等を通じて、地域住民等に参加を呼びかける。 | 地域住民、防犯ボランティア等と協力したパトロール、広報キャンペーン等を実施した。 また、「通学路安全の日」には、各地区において、子供見守り活動等を実施した。 | 活動規模の拡大と感染症に配慮した活動を検討していくことが必要である。 | 「通学路安全の日」、「特殊詐欺被害ゼロの日」等の各種活動強化日には、学校等の関係機関、保護者、地域住民、防犯ボランティア団体等と連携して安全対策に取り組む。 各種活動強化日の定着を図るため、広報紙や会議等を通じて、地域住民等に参加を呼びかける。 |
| | | | 広報啓発行事 | 全国地域安全運動期間中に、各地区の特性・犯罪発生状況に応じ、警察及び関係団体と連携した効果的な広報啓発キャンペーン等を実施し、地域住民の防犯意識を向上させる。 | 新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、イベント等の制限があったが、規模を考慮した各種教室、地域安全イベント、広報キャンペーン等を実施し、防犯意識を向上させるための広報啓発に努めた。 全国地域安全運動の啓発のため、高知新聞(令和5年10月11日付)の広告に参画した。 | 活動規模の拡大と感染症に配慮した活動を検討していくことが必要である。 | 全国地域安全運動期間中に、警察や関係団体と連携した効果的な広報啓発キャンペーン等を実施し、地域住民の防犯意識の向上を図る。 |

事業者・団体等の令和5年度取組実績及び令和6年度の取組予定

注：重点項目欄(1 地域で子どもを見守ろう/2 特殊詐欺の被害を防ごう/3 高齢者などを事故や事件から守ろう/4 鍵かけ運動を進めよう/5 その他)

| 番号 | 団体等名称 | 重点項目 | 取組 | 令和5年度に行った取組 | | | 令和6年度に行う予定の取組 | |
|----|---|--------|-------------------|---|---|---|---|-------------------------------|
| | | | | 計 | 画 | 課 題 | | |
| 3 | 高知県タウンポリ ス連絡協議会 【77団体、5,786名】 | 1 | 地域の見守り活動の実施 | 各地域の犯罪発生状況等を踏まえつつ、関係機関等と連携し、防犯パトロール及び子供見守り活動等を強化する。 また、日常生活の中で防犯の視点を持って見守り活動を行う「ながら見守り」を推進する。 | 警察・学校や地域住民と連携し、通学路安全の日等における子供見守り活動や、不審者情報を認知した際の防犯パトロール等を実施した。 また、日常生活にも容易に取り入れることができる「ながら見守り」活動を幅広く実施した。 | 会員の高齢化が進み、若い世代や現役世代の会員確保が課題である。 また、活動経費の確保が課題である。 | 各地域の犯罪発生状況等を踏まえつつ、関係機関等と連携し、防犯パトロール及び子供見守り活動等を強化する。 また、日常生活の中で防犯の視点を持って見守り活動を行う「ながら見守り」を推進する。 | |
| | | | 1 2 3 4 | 全国地域安全運動等の啓発活動への参加 | 関係機関が実施する全国地域安全運動等の啓発行事に参加する。 | 【見守り活動、パレード、キャンペーン活動】 地域安全運動期間中に見守り活動、街頭パレード、キャンペーン等を実施 | 会員の高齢化が進み、若い世代や現役世代の会員確保が課題である。 | 関係機関が実施する全国地域安全運動等の啓発活動に参加する。 |
| | | | 総会や研修会の開催 | 会員相互の連携強化、意識啓発、情報共有等を目的としたタウンポリス連絡協議会総会や研修会を開催する。 | 令和5年9月12日、タウンポリス連絡協議会総会、研修会を開催 県内の犯罪情勢等について警察から情報提供を受けるとともに、研修会では、よしと住みます芸人として高知県内外で活動されている淀家萬月による防犯漫談を開催し、防犯意識の高揚を図った。 | 総会の内容を充実させ、防犯活動の活性化を図っていく必要がある。 | 会員相互の連携強化、意識啓発、情報共有等を目的としたタウンポリス連絡協議会総会や研修会を開催する。 | |
| 4 | 高知県民生委員 児童委員協議会 連合会 【72団体・約2,400人】 | 1 3 | ブロック及び市町村単位での取り組み | それぞれの地域で、高齢者や障害者、生活困窮世帯、子育て世帯等、生活課題を抱えた住民が地域社会から孤立しないよう、各種福祉・保健関係者や多様な機関・団体との連携を深めながら、安心して生活できる地域づくりに取り組む。 また、個々の委員を支える民児協の組織活動においては、課題解決に向けた一体的な組織活動の推進やブロック内の連携が図られるよう連絡調整を行う。 | 令和5年6月から令和6年2月にかけて県内11会場にてブロック別研修会を開催した。 開催にあたっては、各ブロックでそれぞれのニーズに合ったテーマを選定し、1,916名が参加した。 | それぞれの地域特性を活かした民生委員・児童委員活動に資するため、各市町村民児協の活動との連携や情報共有を行うことで、活動を後方支援していく必要がある。 また、個々の委員を支える民児協の組織活動においては、課題解決に向けた一体的な組織活動の推進やブロック内の連携が図られるよう連絡調整を行う。 | それぞれの地域で、高齢者や障害者、生活困窮世帯、子育て世帯等、生活課題を抱えた住民が地域社会から孤立しないよう、各種福祉・保健関係者や多様な機関・団体との連携を深めながら、安心して生活できる地域づくりに取り組む。 また、個々の委員を支える民児協の組織活動においては、課題解決に向けた一体的な組織活動の推進やブロック内の連携が図られるよう連絡調整を行う。 | |
| | | | 1 | 役員会・専門部会・研修会 | 児童虐待や非行といった課題についての現状や、子育て世帯への支援について情報交換・協議するとともに、ヤングケアラーへの支援など、地域生活課題に対応した研修を開催する。 ・会長・副会長会、理事会、総会ほか ・児童委員専門部会 ・主任児童委員研修会(年1回) | ・主任児童委員を対象に「改正児童福祉法と高知県における子ども・子育て施策」に関する研修を実施した。また、活動報告や意見交換をおして、主任児童委員としての活動事例を共有することができた。 ・児童委員専門部会で「こども家庭庁創設と民生委員児童委員活動」や「高知県内における児童虐待の現状と対応」についての講義を行い、それぞれの地域での連携状況や、今後の関わりについて協議した。 | 児童虐待や非行といった課題についての現状や、子育て世帯への支援について情報交換・協議するとともに、ヤングケアラーへの支援など、地域生活課題に対応した研修を開催する。 ・会長・副会長会、理事会、総会ほか ・児童委員専門部会 ・主任児童委員研修会(年1回) | |
| | | | 2 3 5 | その他 | 関係機関の取組みへの周知等の協力を行う。 | ・消費生活センターからの情報提供に協力した(各種研修情報の提供や、特殊詐欺等の被害防止に向けた広報)。 ・高知新聞に安全安心まちづくりの協賛広告を掲載した。 | 関係機関の取組みへの周知等の協力を行う。 | |

事業者・団体等の令和5年度取組実績及び令和6年度の取組予定

注：重点項目欄(1 地域で子どもを見守ろう/2 特殊詐欺の被害を防ごう/3 高齢者などを事故や事件から守ろう/4 鍵かけ運動を進めよう/5 その他)

| 番号 | 団体等名称 | 重点項目 | 取組 | 令和5年度に行った取組 | | | 令和6年度に行う予定の取組 | |
|----|--|------------------|-----------------|---|--|---|--|--|
| | | | | 計 画 | 実 績 | 課 題 | | |
| 5 | 公益財団法人高知県老人クラブ連合会 (令和5年4月現在 クラブ数 595 会員数 19,955 人) | 1 2 3 | 会報紙や会議等を通じた啓発活動 | ・会報誌に見守り活動等の記事を掲載して啓発 ・会議等において安全安心に関する取組の情報を提供 ・当会の封筒に高齢消費者被害防止の標語を印刷 | ・会報誌への記事掲載は紙面の都合でできなかったが、当会全体で「高知家地域共生社会推進宣言」に取り組むことにした。 ・全市町村老連の集まる会議等で、特殊詐欺被害防止や自転車のヘルメット着用等に関する情報提供をした。 ・当会の封筒に高齢消費者被害防止を図るための標語を印刷し、詐欺に遭わないよう啓発を図った。 | ・特になし | ・会報誌に見守り活動や交通安全等に関する記事を掲載して啓発 ・会議等において安全安心に関する取組の情報を提供 ・引き続き、当会の封筒に高齢消費者被害防止の標語を印刷 | |
| | | | 1 | 地域見守り活動の促進 | ・当会の実施する「地域支え合い事業」のメニューの中に、子どもの見守り活動を位置付け | ・一部の老人クラブでは、「地域支え合い事業」のメニューとして、あいさつ運動をはじめ、老人クラブと児童・園児等が交流することによって、子どもの見守り活動を展開している。 | ・特になし | ・引き続き、当会の実施する「地域支え合い事業」のメニューとして、高齢者だけではなく、子どもの見守り活動も盛り込んでいく。 |
| | | | 3 | 交通安全への啓発活動 | ・夜間歩行者用の反射リストバンド等を会員に配布 | ・RKC高知放送から寄贈を受けた夜間歩行者用の反射リストバンド等を会員に配布した。 | ・特になし | ・本年度も、RKC高知放送から夜間歩行者用の反射リストバンド等の寄贈を受ける予定であり、引き続き、会員に配布していく。 |
| 6 | 高知県連合婦人会 | 1 2 3 4 | 地域で子どもを見守ろう | 下校時に信号待ちで指導 | 婦人会交代で子どもに対して交通安全を指導する。 | ツール(旗)がない | ツール不足を提案・解消する | |
| | | | 特殊詐欺被害防止についての取組 | 警察官等の専門知識を有する者に講話等してもらう | 高齢者等の家に啓発チラシ等を配布し、声かけを実施した。 | | 高齢者は、自分は被害に遭わない等と思っている方がいるので、できるだけ一人一人対面で啓発していく。 | |
| | | | 高齢者の事故防止 | 夕暮れ時における指導啓発を実施する | 令和5年秋ころから夕暮れ時の指導及び公民館における警察官による出前講座を実施した。 | 従事者の服装等がドライバーから見えにくい | ツールの有無による効果の違いを実演して啓発する。 | |
| | | | 鍵かけ運動 | 山間部や海沿い部など田舎の集落において重点的に啓発活動を実施する。 | 左記地区を重点的にして、婦人会の役員等が声かけ等の啓発を実施した。 | 鍵をかける習慣がない又は少ない | 長期間、左記習慣が続いてきたため、今後も継続して改善活動を実施する。 | |

事業者・団体等の令和5年度取組実績及び令和6年度の取組予定

注：重点項目欄(1 地域で子どもを見守ろう/2 特殊詐欺の被害を防ごう/3 高齢者などを事故や事件から守ろう/4 鍵かけ運動を進めよう/5 その他)

| 番号 | 団体等名称 | 重点項目 | 取組 | 令和5年度に行った取組 | | | 令和6年度に行う予定の取組 |
|----|---------------------------------------|-------------|-----------------------------|--|---|---|---|
| | | | | 計 | 画 | 課 題 | |
| 7 | 社会福祉法人 高知県社会福祉協議会 (会員770団体) | 1 | 地域における要支援者の把握と地域の見守り体制の整備促進 | <ul style="list-style-type: none"> 子ども食堂の開設及び運営の支援 子ども食堂の県内全域への普及推進及び食材提供に関する効果的な取組等による支援 | <ul style="list-style-type: none"> 子ども食堂の開設及び運営の支援 企業等からの食材提供に対し、関係機関と連携してニーズに応じた食材マッチングを行い、子ども食堂を支援 子ども食堂シンポジウムやスタッフ研修の開催 | <ul style="list-style-type: none"> 子ども食堂の県内全域への普及 子ども食堂の安定的な運営支援 | <ul style="list-style-type: none"> 子ども食堂の開設及び運営の支援 子ども食堂の県内全域への普及推進及び食材提供に関する効果的な取組等による支援 子ども食堂シンポジウムやスタッフ研修の開催 |
| | | | 地域における要支援者の把握と地域の見守り体制の整備促進 | <ul style="list-style-type: none"> 関係機関との協働の中核を担い、多様な地域課題に対応できるよう、市町村社協の組織体制の強化と職員への体系的な研修の実施 市町村における包括的な支援体制づくりの構築に向けて、行政と市町村社協との連携強化をサポートするとともに、重層的支援体制整備事業の活用が図れるよう、県と連携した後方支援を実施 | <ul style="list-style-type: none"> 市町村で実施される生活困窮者自立相談支援事業の運営を支援するとともに、日常生活自立支援事業や生活福祉資金貸付事業等との連携を推進 生活困窮者自立相談支援事業の任意事業である就労準備・家計改善支援事業の実施 生活困窮者支援ツールとして、全県的なフードバンク事業を実施 生活支援コーディネーター及びあったかふれあいセンター職員を対象に、階層別に研修を実施 包括的な支援体制づくりに向けて研修会を開催するとともに、市町村、市町村社協、県、県社協の四者による協議、検討を実施 | <ul style="list-style-type: none"> 市町村社協の人材確保や組織体制の強化 包括的な支援体制づくりに向けた行政及び関係機関との連携強化 | <ul style="list-style-type: none"> 関係機関との協働の中核を担い、多様な地域課題に対応できるよう、市町村社協の組織体制強化と職員への体系的な研修の実施 市町村における包括的な支援体制づくりの構築に向けて、行政と市町村社協との連携強化をサポートするとともに、重層的支援体制整備事業の活用が図れるよう県との連携した後方支援を実施 |
| | | | 地域における要支援者の把握と地域の見守り体制の整備促進 | <ul style="list-style-type: none"> 災害ボランティア活動支援に係る体系的な研修の開催 市町村社協による災害ボランティアセンターの体制強化に向けた個別支援 災害ボランティアセンター体制づくり検討会の開催(活動支援マニュアルの改定、デジタル技術導入の検討) | <ul style="list-style-type: none"> 災害ボランティアセンター運営基礎研修、中核スタッフ研修、所長予定者会議の開催 市町村社協が実施する災害ボランティアセンターに関する研修の開催支援やマニュアル改定の支援 災害ボランティア活動支援マニュアルの改定 | <ul style="list-style-type: none"> 災害ボランティアセンターに従事するスタッフの育成 災害ボランティアセンターへのデジタル技術の導入 | <ul style="list-style-type: none"> 災害ボランティア活動支援に係る体系的な研修の開催 市町村社協による災害ボランティアセンターの体制強化に向けた個別支援 災害ボランティアセンターへのデジタル技術の導入に向けた試行 |
| | | | 再犯防止に向けた取り組み | <ul style="list-style-type: none"> 地域の実情に応じた支え合いの仕組みづくりが推進されるように、市町村社協と行政との一体的な事業展開に向けた伴走型支援の実施 地域福祉活動計画の改定が予定される6市町村社協の取り組みを支援 | <ul style="list-style-type: none"> 市町村社協や関係機関への高知県地域福祉活動支援計画の周知 地域での支え合いの仕組みづくりの検討や組織体制強化を進める市町村社協を支援 6市町村の地域福祉活動計画の改定を支援 | <ul style="list-style-type: none"> 複合化した地域生活課題や人口減少など地域の実情に応じた仕組みづくりの推進 | <ul style="list-style-type: none"> 地域の実情に応じた支え合いの仕組みづくりが推進されるように、市町村社協と市町村行政との一体的な事業展開に向けた伴走型支援の実施 地域福祉活動計画の改定が予定される5市町村社協の取り組みを支援 |
| 8 | 一般社団法人 高知県交通安全協会 (17支部、約900名) | 1 2 3 | 見守り活動や啓発活動の実施。会員への意識啓発 | <ul style="list-style-type: none"> 交通安全運動等の街頭啓発活動に併せ、事故防止とともに高齢者や子どもを犯罪の被害から守るための見守り活動も実施する。 | <ul style="list-style-type: none"> 県民交通安全日等、各種交通安全街頭指導において、交通事故の防止とともに高齢者や子どもを犯罪の被害から守るための見守り活動も併せて行った。 | <ul style="list-style-type: none"> 現在の活動員が高齢化している為、若手の活動会員の人員確保と育成など | <ul style="list-style-type: none"> 令和5年度と同じ |

事業者・団体等の令和5年度取組実績及び令和6年度の取組予定

注：重点項目欄(1 地域で子どもを見守ろう/2 特殊詐欺の被害を防ごう/3 高齢者などを事故や事件から守ろう/4 鍵かけ運動を進めよう/5 その他)

| 番号 | 団体等名称 | 重点項目 | 取組 | 令和5年度に行った取組 | | | 令和6年度に行う予定の取組 |
|----|-------------------------|--------|---|--|--|--------------------------|---|
| | | | | 計 | 画 | 課 題 | |
| 9 | 高知県交通安全指導員協議会 (261名) | 1 3 | <ul style="list-style-type: none"> ・地域で子どもを見守ろう ・高齢者などを事故や事件から守ろう | <ul style="list-style-type: none"> ・子供の交通事故防止 ・歩行者の保護 ・高齢者の交通事故防止 | <ul style="list-style-type: none"> ・夜間の歩行者保護を目的として、地区管内の住民に対して反射材等の配布をおこなった。 ・地区管内の小学校新1年生を対象とした交通安全啓発活動をおこなった。 ・市内の各幼保小中学校を対象に横断歩道の渡り方や自転車教室を行った。 | 人員、時間の確保 | <ul style="list-style-type: none"> ・歩行者、自転車等利用者の夜間安全確保に反射材着用を促す。 ・夜間事故を防止するため、反射バグの配布を行う。 |
| | | | | | <ul style="list-style-type: none"> ・地域や学校等からの要望により、注意喚起の看板を設置。 ・スピードを出しやすい道路へ注意喚起を行うため、『スピード落とせ』の看板を設置した。 ・春・秋・年末年始の交通安全期間中に掲示し、交通安全を啓発した。 | | <ul style="list-style-type: none"> ・小・中学生を対象に交通安全教室を実施して、反射材を配布する。 |
| | | | | | <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者世帯の訪問及び高齢者が集まりやすい年金受給日に交通安全の啓発をした。 ・児童・園児交通安全日、県民交通安全日および高齢者交通安全日、ならびに各交通安全運動期間中に全交通安全指導員が各持ち場で街頭指導を行った。 ・65歳以上の免許保持者及び歩行者を対象に、交通安全講習等で交通事故防止を呼び掛けた。 | 啓発場所が限られてくる。 人員、時間の確保 | <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が日常的に利用する量販店等に出向き、高齢者を対象に交通事故防止を呼びかけながら反射材などを配布し、啓発活動を行う。また、地区ごとに高齢者世帯への合同訪問を関係機関と協働して実施する。 |
| | | | | | <ul style="list-style-type: none"> ・春・秋の全国交通安全運動期間中、ドライバーに啓発用箱ティッシュを配布し、交通安全を呼びかけた。 ・警察署と合同で、地区内の保育園児・幼稚園児・新入学生等を対象に交通安全教室を開催し、基本の交通ルールなどを指導した。 | | <ul style="list-style-type: none"> ・春と秋の全国交通安全運動期間中、ドライバーに飲み物・チラシ等を配布して、交通安全を呼びかける。 |

事業者・団体等の令和5年度取組実績及び令和6年度の取組予定

注：重点項目欄(1 地域で子どもを見守ろう/2 特殊詐欺の被害を防ごう/3 高齢者などを事故や事件から守ろう/4 鍵かけ運動を進めよう/5 その他)

| 番号 | 団体等名称 | 重点項目 | 取組 | 令和5年度に行った取組 | | | 令和6年度に行う予定の取組 |
|----|-------------------------|--------|---|---|---|--|---|
| | | | | 計 | 画 | 課 題 | |
| 10 | 高知県交通安全母の会連合会 (26支部) | 1 3 | <ul style="list-style-type: none"> ・地域で子どもを見守ろう ・高齢者などを事故や事件から守ろう | <ul style="list-style-type: none"> ・子供と高齢者の交通安全対策強化 ・家庭での交通安全教育の向上 ・地域、関係機関団体とのさらなる連携強化 ・安全安心まちづくり活動の推進 | <ul style="list-style-type: none"> ・高知警察署での交通安全研修に参加し、自転車乗車中や歩行中の交通事故防止についての講習を受講。 ・交通安全教育を受ける機会の少ない高齢者を対象とした高齢者出前ふれあい事業として、高齢者世帯を訪問し、啓発物品を配布しながら交通安全啓発を行った。 | 人員、時間の確保 | <ul style="list-style-type: none"> ・保育園・学校に向向き、出前ふれあい型交通安全教室を開催する。 ・子供に対する街頭での保護・誘導活動を積極的に行う。 |
| | | | | | <ul style="list-style-type: none"> ・薄暮時に、量販店等で自転車用反射材の配布を行い、交通安全を呼びかけた。 ・交通安全運動初日に安芸市役所前で実施される交通安全街頭キャンペーンに参加し、交通安全の啓発を行った。 ・通園、通学路で児童の登下校の見守り活動を行い、交通ルールやマナーを指導した。 | 人員、時間の確保 | |
| | | | | <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者宅を訪問して、交通安全グッズなどを配布し、交通安全を呼びかけた。 ・春、秋、年末年始の交通安全運動期間中、通園、通学路で交通マナーの街頭指導を行った。 ・市内の保育所(赤野、矢ノ丸)に訪問し、翌年小学校へ入学する児童を含め、DVD等で交差点の渡り方などを教えた。 | 人員、時間の確保 | <ul style="list-style-type: none"> ・世帯訪問を実施し、交通事故に遭う高齢者が多いことや、事故原因や注意点を説明し、危険に対する警戒心や交通安全意識の向上を図る。 ・年金日の金融機関や量販店などに向向き、反射材の利用や明るい服装での外出を呼びかける。 | |
| | | | | <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者世帯訪問事業にあわせて、啓発資料を配付しながら世帯訪問を実施。 ・ドライバーサービス 通行するドライバーへ啓発グッズを配布 ・幼稚園児に、交通安全に関する紙芝居を見せることで、交通事故やその他の事故に遭遇しないために交通ルールを守ることの大切さを知り、交通安全に対する意識を高める。 | 人員、時間の確保 | <ul style="list-style-type: none"> ・自主防犯組織や民生児童委員とともに、登下校時の子供の見守り活動を行う。 ・高齢者世帯訪問事業に併せて、犯罪被害に遭わないように地域の情報を提供し、注意を促す。 | |
| | | | | <ul style="list-style-type: none"> ・通学路において、登下校の見守り活動を行った。 ・警察や香南市交通安全協会、香南市交通安全推進市民会議と協力し、一斉街頭指導を行った。 | 人員、時間の確保 | <ul style="list-style-type: none"> ・交通安全指導員、教育委員会、交通安全協会、高齢者アドバイザー等との相互間の連携を密にし、会議、研修会を積極的に開催し、交通安全について地域住民に幅広く呼びかける。 | |
| | | 2 3 | <ul style="list-style-type: none"> 特殊詐欺の被害を防ごう 高齢者などを事故や事件から守ろう | <ul style="list-style-type: none"> ・子供と高齢者の交通安全対策強化 ・家庭での交通安全教育の向上 ・地域、関係機関団体とのさらなる連携強化 ・安全安心まちづくり活動の推進 | <ul style="list-style-type: none"> ・交通安全の高齢者世帯訪問事業にあわせて、振り込め詐欺などの被害に遭わないようチラシ等を配布してよびかけたり、四万十町のイベントに合わせてパトロールをするなどして防犯意識を高めた。 ・ドライバーに交通安全啓発グッズを配布し、交通安全の意識を高めた。 ・高齢者世帯に詐欺防止等についての啓発グッズを配布し、防犯意識を高めた。 | 人員、時間の確保 | <ul style="list-style-type: none"> ・地元警察署との連携を強化するとともに、交通安全市町村会議等に参加し、行政機関との連携も強化する。 |

事業者・団体等の令和5年度取組実績及び令和6年度の取組予定

注：重点項目欄(1 地域で子どもを見守ろう/2 特殊詐欺の被害を防ごう/3 高齢者などを事故や事件から守ろう/4 鍵かけ運動を進めよう/5 その他)

| 番号 | 団体等名称 | 重点項目 | 取組 | 令和5年度に行った取組 | | | 令和6年度に行う予定の取組 | |
|----|--------------------------------------|------------------|------------------|--|--|---|---|---|
| | | | | 計 画 | 実 績 | 課 題 | | |
| 11 | 高知県少年警察ボランティア協会 (17地区、429名) | 1 2 4 5 | 機関誌への掲載 | 各地区の少年警察ボランティアの活動状況を紹介する機関誌を有効活用し、情報共有すると共に連携を図り、活動の充実と活性化につなげる。 | 各地区の特色を活かして実施した安全安心まちづくり活動を、機関誌「さぼーと」(年1回4月、600部作成)に掲載し、会員及び関係機関等に配布して、会員等の活動意欲の醸成を図った。 | 少年警察ボランティアの活動に対する県民の理解を得て、地域ぐるみで少年の健全育成の社会機運を醸成する必要がある。 | 各地区の少年警察ボランティアの活動状況を紹介する機関誌を有効活用して情報共有と共に連携を図り、活動の充実と活性化につなげる。 | |
| | | | 1 3 4 | 見守り活動の実施 | 各地区や地域の実情に合わせた街頭補導活動や通学路での見守り活動等の街頭活動を実施し、効果的な取組を図る。 | 少年警察ボランティアの活動状況として、 【令和5年中】 街頭補導活動、275回(延べ699人参加) 各地区の少年警察ボランティアが、関係機関、団体等と連携し、小中学生の登下校時間等において地域に密着した街頭補導活動を実施した。 | 活動の効果を上げるため、関係機関及び団体との連携を深め、地域の実情に即した取組を継続していく必要がある。 | 各地区や地域の実情に合わせた各種行事等における街頭補導活動や通学路での見守り活動等の街頭活動を実施し、効果的な取組を図る。 |
| | | | 1 2 3 4 | 啓発活動への参加 | 関係機関及び団体との良好な関係を保持し、お互いの特色を活かした幅広い啓発活動を実施する。 | 各地区ボランティアが、関係機関、団体及び地元学生等と連携し、自転車盗難被害防止活動の広報や声掛けを行ったり、地域安全運動等の行事に参加して、地域住民と一体となった少年の健全育成や地域安全について啓発した。 | 県民の理解と協力を得るため、活動の趣旨を明確にして広報し、親しみやすい活動にする必要がある。 | 関係機関及び団体との良好な関係を保持し、お互いに連携を取りながら、少年警察ボランティアとしての特色を活かした幅広い啓発活動を実施する。 |
| | | | 1 2 4 | 研修会等での呼びかけ | 総会及び研修会等を開催し、各地区の取組発表や意見交換等を実施することで安全安心まちづくり活動の充実と活性化を図る。 | 高知県少年警察ボランティア協会の研修会を開催し、関係機関を招いての講話を行い、少年関係機関の取組への理解を深めた。各地区においても総会や研修会を開催して子どもの見守り活動や鍵かけ運動の推進及び犯罪被害防止等について意見交換し、活動の充実と活性化を図った。 | 多くのボランティアが気軽に参加できるよう、オンライン研修や参加できなかった研修会内容の伝達、開催場所の工夫等、多様な形の研修方式を検討する必要がある。 | 総会及び研修会等を開催し、各地区の取組発表や意見交換等を実施することで安全安心まちづくり活動の充実と活性化を図る。 |
| 12 | 公益財団法人 高知県身体障害者連合会 【30団体、約1,000名】 | 2 3 | 会員への意識啓発 | 高知県身体障害者連合会の各種会議・研修会を通じて安全・安心まちづくりについての啓発を行う。 | 市町村身体障害者団体指導者研修会で、消費生活センター職員を講師に招き「見守り者向け消費者講座」を開講した。また、「消費者トラブル対策マニュアル」等の資料を提供して、啓発、注意喚起を行った。 | 団体の指導者と会員(障害者)の接点が少なくなってきた。 | 高知県身体障害者連合会の各種会議・研修会を通じて安全・安心まちづくりについての啓発を行う。 | |
| 13 | 高知市老人クラブ連合会(109クラブ) | 1 2 | 地域見守り活動の実施 | ○朝倉ブロックによる児童登下校時の見守り活動の継続 ○地域における児童の見守り活動の継続 | ○新入学児童の登下校時の見守り活動を実施した。 ○各クラブの自主的活動により継続的に実施できた。 | | ○朝倉ブロックによる児童登下校時の見守り活動の継続 ○地域における児童の見守り活動の継続 | |
| | | | 1 2 3 4 | 研修会等での呼びかけ | ○ブロック研修会や活動の中で時宜に応じた講師や内容に工夫し参加呼びかけを強める。 ○地域ミニデイサービス事業における「高齢者交通安全教室」の継続実施 | ○ミニデイサービス事業への所轄署高齢者アドバイザーによる交通安全教室を実施した。実施箇所7箇所、回数11回、参加者171名 | | ○ブロック研修会や活動の中で時宜に応じた講師や内容に工夫し参加呼びかけを強める。 ○地域ミニデイサービス事業における「高齢者交通安全教室」の継続実施 |
| | | | 2 | 広報紙(機関紙)への掲載 | ○#9110の啓発チラシを館内へ配置 | ○南部健康福祉センター老人憩所及び西部健康福祉センター、高齢者いきいきセンター内に配置した。 | | ○くらしネットの配布協力 ○館内への啓発ポスター掲示、チラシの配置 |
| | | | 3 | 地域見守り活動の実施 | ○クラブの友愛活動の中で、閉じこもりがちな高齢者に対して訪問と電話活動で見守り活動を継続する。 | 声のお便り訪問を実施した。対象者2名 訪問回数延べ6回 | | ○地域共生社会づくりの上では重要な取り組みであるため、今後ともクラブの友愛活動の中で、閉じこもりがちな高齢者に対して訪問と電話活動で見守り活動を推進する。 |
| | | | 3 | 交通安全意識の啓発 | ○市老連女性部が主催する「女性大学」の学習課程に交通安全教室を組み込む。 | ○高知南警察署の協力を得て交通安全教室を開催 ○秋の交通安全運動期間中に無事故無違反チャレンジ100を実施した。 | | ○生き生き大学の学習課程に組み込む。 ○ホームページへの掲載 |

事業者・団体等の令和5年度取組実績及び令和6年度の取組予定

注：重点項目欄(1 地域で子どもを見守ろう/2 特殊詐欺の被害を防ごう/3 高齢者などを事故や事件から守ろう/4 鍵かけ運動を進めよう/5 その他)

| 番号 | 団体等名称 | 重点項目 | 取組 | 令和5年度に行った取組 | | | 令和6年度に行う予定の取組 | |
|----|------------------------------|--------|------------------|---|---|---|--|---|
| | | | | 計 画 | 実 績 | 課 題 | | |
| 14 | あさひの子どもを守る会 (55名、1団体1名) | 1 | ○地域で見守り活動 | ○小学校全登校日の登下校時の見守りパトロール、通行量最大横断歩道(約300人)での安全確保 ○晴天時の下校時における横内小・旭小学校通学路での青パトによるパトロール ○月1回自転車夜間照明点灯の指導・安全指導 ○第3火曜日の夕刻に会員等によるパトロール等を実施 ○会員による活動PR | ○登下校時同伴パトロールを実施した。 横内小:全登校日 旭小:週1回 ○交通頻繁な横断歩道(利用児童約300人)での安全確保・交通指導(横内小全登校日)を実施した。 ○青パトによる下校時(晴天時)パトロールをのべ134日実施した。 ○第3火曜日の夕方(5時~7時のうち40分程度)会員・民生委員児童委員等による地域内の歩行パトロールを実施した。 ○毎月15日(土日・祝日の場合は翌日)の夕方、主要交差点での自転車点灯指導を実施した。 ○会員が町内に出かけるときには、会指定の帽子をかぶって住民に見守り活動をしていることをPRした。 | ○会員の高齢化等によりボランティアの参加が減少している。 | ○令和5年度に準じて実施する。 | |
| | | | 3 5 | ○安全安心なまちづくり啓発広報 | 安全安心なまちづくり啓発パレードを実施する。 | 実施日時 11月14日(火)16時から17時 場所 喫茶クリスタルから高知商業高校までの間 | 参加者の減少 | ○令和5年度に準じて実施する。 |
| | | | 2 | ○振り込め詐欺防止の取組み | 振り込め詐欺防止等の広報・啓発活動を実施する。 | 高齢者が集まる行事の機会に啓発活動を実施した。 まちづくり推進会議で「ふりこまない音頭」を実施した。 | マンネリ化傾向にある。 | ○令和5年度に準じて実施する。 |
| | | | 1 2 3 5 | 情報交換、防犯・安全への呼びかけ | 情報交換を行う 旭西部地域内広報紙「あさひ西方見聞録」に活動状況等を広報、地域住民に配布 | 定例会・交流会開催:6・9・12月(3月中止)、参加は会員と関係団体 4月(年1回配布)に地域内約3,100世帯へ広報紙を配布した。 | 定例会への参加が少ない。 | ○令和5年度に準じて実施する。 |
| 15 | 高知県更生保護女性連盟 (県下13地区・636人) | 1 3 | 地域の見守り活動 | 子どもの見守り運動、犯罪被害予防の実施 | ・各地区において、小学校通学路における新入学児童等の見守り及びあいさつ運動を実施。 ・各地区において、子ども食堂に対し、支援・協力を実施。 ・各地区において、小学生を対象に交通安全教室を実施。 ・各地区において、青少年育成センター等から不審者情報があればすぐに小学生に声をかけ、注意喚起及び登下校時の見守りを実施。 ・社会を明るくする運動で犯罪予防を呼びかける標語を当番の中学校から募集し、優秀作品を記載したパネルを家庭や地域の掲示板に掲示した。 | 会員数の減少や高齢化等に伴う活動回数等の減少や会員負担の増加が課題。 | 各地区において、小学校通学路における新入学児童等の見守り及びあいさつ運動を実施。 各地区において、子ども食堂に対し、支援・協力を実施。 各地区において、小学生を対象に交通安全教室を実施。 各地区において、青少年育成センター等から不審者情報があればすぐに小学生に声をかけ、注意喚起及び登下校時の見守りを実施。 社会を明るくする運動で犯罪予防を呼びかける標語を当番の中学校から募集し、優秀作品を記載したパネルを家庭や地域の掲示板に掲示。 | |
| | | | 2 3 | 地域の見守り活動 | 高齢者の見守り、犯罪被害予防の実施 | 地区の高齢者世帯を個別訪問し特殊詐欺や交通事故に遭わないよう被害防止を呼びかけた。 | 会員数の減少や高齢化等に伴う活動回数等の減少や会員負担の増加が課題。 | 地区の高齢者世帯を個別訪問し特殊詐欺や交通事故に遭わないよう被害防止を呼びかける。 |
| | | | 5 | 広報 | 安全安心まちづくりポスターを掲示 | 地域の掲示板等に安全安心まちづくりポスターを掲示した。 | 特になし | 地域の掲示板等に安全安心まちづくりポスターを掲示。 |
| | | | 5 | 地域連携 | 犯罪防止のための啓発活動等の実施 | ・県・国が推進する再犯防止推進計画に基づく再非行・再犯防止のための研修会を実施。 | 特になし | 県・国が推進する再犯防止推進計画に基づく再非行・再犯防止のための研修会を実施。 |

事業者・団体等の令和5年度取組実績及び令和6年度の取組予定

注：重点項目欄(1 地域で子どもを見守ろう/2 特殊詐欺の被害を防ごう/3 高齢者などを事故や事件から守ろう/4 鍵かけ運動を進めよう/5 その他)

| 番号 | 団体等名称 | 重点項目 | 取組 | 令和5年度に行った取組 | | | 令和6年度に行う予定の取組 |
|----|--|-------------|--------------------------|--|---|--|--|
| | | | | 計 | 画 | 課 題 | |
| 16 | 高知県小中学校PTA連合会(6団体、21,297名) | 1 5 | ○活動方針として取り組む | 県小中学校PTA連合会総会において、「子どもの生命と人権を守る」として活動方針(案)に入れ、取り組む。 | 事件・事故・災害から子どもの生命と安全が守られるよう研修会などで会員の意識啓発を行った。 | | 県小中学校PTA連合会総会において、「子どもの生命と人権を守る」として活動方針(案)に入れ、取り組む。 |
| | | 1 4 5 | ○広報紙・ホームページへの掲載 | 県小中学校PTA連合会の広報紙・ホームページに犯罪のない安全安心まちづくりに関する記事(地域で子どもを見守ろう)シンボルマーク等を掲載し、会員の意識啓発を行う。(7月発行予定 約25,000部) | 自転車の安全利用に関する記事を掲載した広報紙「高知県PTA新聞」(7月発行)を25,305部印刷し、会員の意識啓発を行った。 | | 県小中学校PTA連合会の広報紙・ホームページに犯罪・事故のない安全安心まちづくりに関する記事やシンボルマーク等を掲載し、会員の意識啓発を行う。(7月発行予定 約25,000部) |
| 17 | 高知県小中学校長会(267名) | 1 | ○情報交換の開催とパトロールの実施 | 各学校と関係機関との情報交換を実施する。緊急時における各学校と関係機関等との連絡体制の強化を行う。保護者や地域の方と連携し、登下校時の見守りを行う。 | ・新型コロナウイルスの5類への移行を受け、前年度よりも情報交換の場を設けることができ、連携に努めた。 | 定期的な情報交換の場は重要であり、教員の働き方改革も踏まえた、場の設定が一層必要である。 | ・令和6年度も引き続き研修を計画にそって実施したい。 |
| | | 2 3 | 特殊詐欺被害防止対策の実施 | 各学校において、教職員や児童・生徒・保護者に対する研修を行う。児童・生徒を通じた高齢者の被害防止への啓発活動を行う学校を増やしていく。 | | 特殊詐欺被害防止の取組が必要であり、重要であるが、なかなか全体には広がっていない状況は本年度も変わらない。 | ・令和6年度も引き続き研修を計画にそって実施したい。 |
| | | 5 | 研修会の実施 | 高知県小中学校長会や各学校において、継続した危機管理の研修などを行うとともに、その内容を充実させていく。 | ・県校長会としての研修を、充実して実施できた。 ・全校大会やブロック大会での他県との交流も進んだ。 | 年々多様化・複雑化している学校現場の中で、取組がなかなか追いついていない状況がさらに進んでいる。 | ・令和6年度も引き続き研修を計画にそって実施したい。 |
| 18 | 高知県スクールガード・リーダー連絡協議会 (R5、スクールガード・リーダー43名) | 1 | 学校内外の巡回、学校等への指導助言、見守り活動等 | ○22市町村で41名にスクールガード・リーダーを委嘱し、学校や通学路における子どもの安全を確保するため、巡回指導や学校及びスクールガード(学校安全ボランティア)に対する指導助言等を行う。 ○スクールガード・リーダーの活動の充実に向け、研修や情報交換の場として、スクールガード・リーダー連絡協議会と、高知県地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業市町村担当者会を同時開催する。 ○各市町村及び学校における「登下校防犯プラン」に基づいた取組に協力していく。 | ○22市町村で43名にスクールガード・リーダーを委嘱し、幼保小中合わせて156校(うち小学校は113校)へ巡回指導を実施した。子どもの見守り活動の促進、学校内外の防犯環境及び組織体制の整備等について、専門的な指導助言を適宜行い、子どもの安全確保に努めた。 ○スクールガード・リーダー連絡協議会を開催し、スクールガード・リーダーの活動の充実に向けての事業説明、講話を行った。また、スクールガード・リーダーだけでなく、各市町村の担当者の参加もあり、スクールガード・リーダー同士、市町村担当者同士での情報交換も行った。 ○令和5年度 スクールガード・リーダー連絡協議会 日時：令和5年5月24日(水)14:00～16:00 会場：オーテピア高知図書館 参加人数：45人(スクールガード・リーダー 29名、市町村担当者 16名) | ○スクールガード・リーダーが、防犯の観点から、学校内外で子どもの安全を守る巡回指導等を継続的に実施しており、子どもや保護者からの信頼も厚く、地域の犯罪を防止する抑止力になっている。しかし、スクールガード・リーダーの高齢化に伴う人員確保が課題となっている。 ○スクールガード・リーダーを委嘱する市町村が固定化しており、他の市町村にも体制を広げる必要がある。 ○スクールガード・リーダーが、スクールガード(学校安全ボランティア)の活動に指導助言役として効果的に関わり、専門的な知見を活かした見守り活動が展開されるよう、市町村に働きかけていく必要がある。 | ○22市町村で44名にスクールガード・リーダーを委嘱し、学校や通学路における子どもの安全を確保するため、巡回指導や学校及びスクールガード(学校安全ボランティア)に対する指導助言等を行う。 ○スクールガード・リーダーの活動の充実に向け、研修や情報交換の場として、スクールガード・リーダー連絡協議会(各市町村担当者も参加)を同時開催する。 ○各市町村及び学校における「登下校防犯プラン」に基づいた取組に協力していく。 |

事業者・団体等の令和5年度取組実績及び令和6年度の取組予定

注：重点項目欄(1 地域で子どもを見守ろう/2 特殊詐欺の被害を防ごう/3 高齢者などを事故や事件から守ろう/4 鍵かけ運動を進めよう/5 その他)

| 番号 | 団体等名称 | 重点項目 | 取組 | 令和5年度に行った取組 | | | 令和6年度に行う予定の取組 |
|----|----------------------------------|----------------------|---------------------|---|--|----------------------------------|--|
| | | | | 計 画 | 実 績 | 課 題 | |
| 19 | 高知県経営者協会 | 5 | 会員への広報 | 「安全・安心まちづくりニュース」を機関誌配布時やホームページ等を通じて会員へ広く周知し、意識啓発と地域安全への協力を呼びかける。 | 「安全・安心まちづくりニュース」を機関誌配布時に同封し、会員へ周知・啓発を呼びかけた。 | ニュース以外の啓発ツールがあれば、タイムリーな情報を発信できる。 | 「安全・安心まちづくりニュース」を機関誌配布時に同封し、その他有益な情報をホームページ・メルマガ等を通じて会員へ広く周知し、意識啓発と地域安全への協力を呼びかける。 |
| 20 | 高知県商工会議所連合会 (6団体、約6,800名) | 5 | 広報活動 | ①会員企業に対して、広報誌やホームページ等を通じて地域安全について理解、協力依頼を行うなど、間接的防犯活動の実施 ②啓発ポスターの掲示 | ①自主防災活動への協力依頼記事をシンボルマークとともに広報誌「高知商工会議所 会報3月号」に掲載。会員企業・関連施設に3700部配布 ②年間を通じ当所掲示場所に啓発ポスター(声かけサポート運動、鍵かけ確認)、推進会議作成ポスターなどを掲示 | 取組みが毎年同じ内容になり、マンネリ化している。 | ・機関紙への啓発記事掲載 ・啓発ポスターを掲示 |
| 21 | 高知県商工会連合会 (25団体、約160名) | 1 2 3 5 | 地域見守り防犯活動の実施 | 地域の安全・防犯のため見守り活動を(パトロール)を行う。 | 自主防犯パトロール(不定期) | 業務が忙しく不定期となってしまう | 継続して実施する |
| | | | 犯罪等の予防のための連携 | 県警と犯罪等の予防に係る連携協定を締結後、事業者が対象となる犯罪を未然に防止、犯罪や事故の被害から守る活動を推進する | 各商工会と協定を締結、活動開始 | | 継続して実施する |
| 22 | 高知県旅館ホテル生活衛生同業組合 (9支部、191事業所) | 1 5 | 「子ども110番の宿」活動の実施 | ○組合青年部による子どもを守る活動の「子ども110番の宿」活動の普及に努める ○子供が宿に助けを求めてきた場合、子どもを保護するとともに、子どもに代わって110番通報する | 6/5青年部総会にて「子ども110番の宿」について意識啓発 | | ○組合青年部による子供を守る活動の普及に努める ○子どもが宿に助けを求めてきた場合、子どもを保護するとともに、子どもに代わって110番通報する |
| | | | 全国地域安全運動等への参加 | ○全国地域安全運動、年末年始における防犯活動への参加 | ○各会総会等への参加 | | 全国地域安全運動、年末年始における防犯活動への参加 |
| 23 | 公益社団法人高知県建築士会 [会員約1,000名] | 5 | 高知県建築士会報・ホームページへの掲載 | ①会報「高知 建築士」に記事を掲載し、会員等に配布 ②ホームページを通じ、安全安心まちづくり情報を提供 ③関係機関からの安全安心まちづくりに関するポスターを掲示 ④建築物防災週間に係る行政協力 | ①会報「高知 建築士」に県からの啓発記事を掲載し、会員等に配付 ②ホームページを通じ、安全安心まちづくり情報を提供 ③関係機関からの安全安心まちづくりに関するポスターを事務局内に掲示 ④年間2回、建築物防災週間に県と現地調査を実施 | | ①会報「高知 建築士」に記事を掲載し、会員等に配付 ②ホームページを通じ、安全安心まちづくり情報を提供 ③関係機関からの安全安心まちづくりに関するポスターを事務局内に掲示 ④建築物防災週間に係る行政協力 |

事業者・団体等の令和5年度取組実績及び令和6年度の取組予定

注：重点項目欄(1 地域で子どもを見守ろう/2 特殊詐欺の被害を防ごう/3 高齢者などを事故や事件から守ろう/4 鍵かけ運動を進めよう/5 その他)

| 番号 | 団体等名称 | 重点項目 | 取組 | 令和5年度に行った取組 | | | 令和6年度に行う予定の取組 | |
|----|-----------------------------|------|-----------------------------|---|---|--|---|--|
| | | | | 計 画 | 実 績 | 課 題 | | |
| 24 | 高知県金融機関防犯連合会 (46団体) | 2 | 情報提供の推進 | 特殊詐欺の手口が多様化していることから、犯罪情勢に応じたタイムリーな情報発信を行い、「だまされないための対策」を強化する。 被害に遭っている可能性の高い顧客等に対する声かけを積極的に行い、「だまされても被害金を取られないための対策」を推進し、警察への通報を呼び掛けるなど、未然防止を図る。 | 特殊詐欺被害の認知及び予兆電話の多発等があった場合は、警察からの依頼により各店舗に対して、顧客への注意喚起、ATM警戒等の連絡をし、被害防止対策に努めた。 また、令和5年10月に、県警察と連携して、スマートフォンの位置情報を活用した広告(ジオ・ターゲティング方式)配信による広報啓発活動を行い、特殊詐欺の被害防止をはかるため10月13日の「年金支給の日」及び「STOP! ATMでの携帯電話」運動の周知を図った。 | 特殊詐欺被害及び予兆電話は手口が変遷することから、タイムリーかつ効果的な情報発信を行う必要がある。 | 特殊詐欺の手口が多様化していることから、犯罪情勢に応じたタイムリーな情報発信を行い、「だまされないための対策」を強化する。 被害に遭っている可能性の高い顧客等に対する声かけを積極的に行い、「だまされても被害金を取られないための対策」を推進し、警察への通報を呼び掛けるなど、未然防止を図る。 | |
| | | | 被害防止対策の推進 | 特殊詐欺被害を未然防止するため、警察と連携をとり、最新の手口や多発している手口に対する注意喚起や声かけ訓練等を推進し、被害防止対策の強化を図る。 また、顧客の安全を守るため、店内巡回、駐車場の見守り活動等を促進し、犯罪のない安全安心まちづくりの確立を目指す。 | 特殊詐欺被害に遭っている可能性が高い顧客への声かけの実施や不審口座のモニタリング等で被害の未然防止に努めた(令和5年中の金融機関職員における未然防止15件)。 各店舗において声かけ訓練を実施し、未然防止対策の強化を図った。 特殊詐欺被害が続発していることから、ATM付近において携帯電話の通話をしない「STOP! ATMでの携帯電話」宣言に基づき、無人のATMコーナーへアナウンス機能付き看板を設置して、被害防止対策を図った。 | 特殊詐欺被害(被害金額)が増加しており、未だ高齢者を中心に被害が発生しているため、今後も効果的な情報発信を行う必要がある | 特殊詐欺被害を未然防止するため、警察と連携をとり、最新の手口や多発している手口に対する注意喚起や声かけ訓練等を推進し、被害防止対策の強化を図る。 また、顧客の安全を守るため、店内巡回、駐車場の見守り活動等を促進し、犯罪のない安全安心まちづくりの確立を目指す。 | |
| | | | 全国地域安全運動等への参加 | 全国地域安全運動、年末年始における犯罪抑止活動(特別警戒)へ参加する。 | 全国地域安全運動期間中に、特殊詐欺等被害防止にかかる広報啓発キャンペーン等を実施し、特殊詐欺、その他犯罪被害防止に関する意識の高揚を図った。 また、全国地域安全運動の啓発のため、高知新聞(令和5年10月11日)の広告に参画した。 | 各種キャンペーン等の行事へ参加し、犯罪の未然防止について意識を醸成していく必要がある。 | 全国地域安全運動、年末年始における犯罪抑止活動(特別警戒)へ参加する。 | |
| | | | 店舗の防犯体制の強化 | カラーボールの配置、防犯カメラ、緊急通報装置の点検、効果的な活用を図り、店舗の防犯体制を強化する。 警察と連携し、実践的な強盗対応訓練を実施する。 | 各店舗が、警察と協力した強盗対応訓練を実施し、店舗の防犯体制や通報体制を強化した。 | 訓練を継続的に実施し、有事における適切な対応について、意識の醸成を図る必要がある。 | カラーボールの配置、防犯カメラ、緊急通報装置の点検、効果的な活用を図り、店舗の防犯体制を強化する。 警察と連携し、実践的な強盗対応訓練を実施する。 | |
| 25 | 高知県石油業協同組合 (167団体、約245名) | 1 | 地域安全シェルター(かけこみ110番連絡所)活動の実施 | 「かけこみ110番連絡所」の継続。 | 計画通り実施。 | | 「かけこみ110番連絡所」の継続実施。 | |
| | | | 5 | 緊急時石油製品供給安定化事業 | 災害時対応研修会の継続実施。自家発電機点検及び稼働訓練。 資源エネルギー庁「災害時情報収集システム」報告訓練に参加 | 計画どおり実施 | | 災害時対応研修会の継続実施。自家発電機点検及び稼働訓練を実施。 資源エネルギー庁「災害時情報収集システム」報告訓練に参加予定。 |
| | | | | 自治体主催総合防災訓練 | 令和5年5月28日 | 参加 | | 令和6年度高知県防災総合訓練・地域防災フェスティバル参加予定。5月26日 |

事業者・団体等の令和5年度取組実績及び令和6年度の取組予定

注：重点項目欄(1 地域で子どもを見守ろう/2 特殊詐欺の被害を防ごう/3 高齢者などを事故や事件から守ろう/4 鍵かけ運動を進めよう/5 その他)

| 番号 | 団体等名称 | 重点項目 | 取組 | 令和5年度に行った取組 | | | 令和6年度に行う予定の取組 | |
|----|--|-------------|------------------------------------|---|---|---|--|--|
| | | | | 計 画 | 実 績 | 課 題 | | |
| 26 | 高知県理容生活衛生同業組合 (理容業団体、297名) | 1 | 安全シェルター活動(子ども110番の車)の実施 | 前年度取組計画の内容 | 発信の場として、活用できていなかった。 | 全組合員が掲示する状況になっていない。 | 繰り返し、掲示の要請をしていく。また、組合の活動の一環であり、「地域に根差した店舗」としての取組であることの周知を徹底し、浸透を図りたい。 | |
| | | 2 3 4 | 研修会等でのよびかけ | | 発信の場として、活用できていなかった。 | | | ①具体的な被害の情報(新聞外)をもとに、各会議にて、問題を提示し、安心安全のまちづくりへの認知を各理事から、組合員に発信してもらえる組織づくりの強化を図りたい。 |
| | | 5 | 広報誌「理容高知」への掲載 高知支部広報誌「くろしお」への掲載 | 今年度取組計画の内容 | 発信の場として、活用できていなかった。 | | | ①広報誌「理容高知」に犯罪のない安心安全な街づくりに関する記事を掲載し、組合員に配布し、浸透を図りたい。 ②高知支部広報誌「くろしお」にも取り上げて発信をより強化したい。 |
| 27 | 高知県遊技業協同組合 | 1 | 総会に出席し活動方針の実施 | 活動方針を事業計画に反映させる | 地域での子ども見守り活動(交通安全を含む)を実施 | 発展的継続 | 昨年度の取組の継続 | |
| | | 1 3 4 | 各ホール駐車場における防犯対策の実施 | 子どもの車内放置・強盗、車上狙い被害防止活動 | 駐車場の巡回、ポスター掲示、店内放送を実施。、子ども車内放置事案については「発生なし」を達成 | 発展的継続 | 昨年度の取組の継続 | |
| | | 1 | 児童養護施設への寄贈 | 児童養護施設への児童用図書及び飲料水の寄贈(クリスマスプレゼント) | 子ども食堂への要望に沿った物品寄贈及び児童養護施設(3施設)への図書、飲料水の寄贈 | 発展的継続 | 昨年度の取組の継続 | |
| 28 | 一般社団法人高知県トラック協会 (会員6支部412社、約8,000名) | 1 3 | 地域見守り活動の実施 | ・会員企業(中央・幡多ダンブカー部会、食料品部会)の車両で、お年寄りや子供の見守り活動を実施する ・県警とタイアップし「子どもを守る安全運転宣言車」のステッカーを作成し、会員企業の全車両に貼付し、未来を担う子供を交通事故等の被害から守るために見守り活動を実施する。 | ・会員企業(中央・幡多ダンブカー部会、食料品部会)の車両で、お年寄りや子供の見守り活動を実施した ・会員企業の全車両に「子どもを守る安全運転宣言車」のステッカーを貼付し、未来を担う子供を交通事故等から見守り、一般のドライバーへの啓発活動を実施した | | ・会員企業(中央・幡多ダンブカー部会、食料品部会)の車両で、お年寄りや子供の見守り活動を実施する ・会員企業の全車両に「子どもを守る安全運転宣言車」のステッカーを貼付し、未来を担う子供を交通事故等の被害から守るために見守り、一般のドライバーへの啓発活動を実施する | |
| | | 5 | 広報誌への掲載 | 広報誌「こうちトラック情報」へ「安全安心まちづくりだより」を掲載し、会員の意識啓発を行う。 | 広報誌「こうちトラック情報」へ「安全安心まちづくりだより」を掲載し、会員の意識啓発を行った。 | | 広報誌「こうちトラック情報」へ「安全安心まちづくりだより」を掲載し、会員の意識啓発を行う。 | |
| 29 | 一般社団法人高知県警備業協会 (会員42社、約2,000人) | 1 | 地域における子供見守り活動 | 県内各地において「青色回転灯パトローカー」を使用した巡回・警戒・声かけ活動を積極的に実施し、子供を事件・事故から守る活動を展開する。 | ○ 令和5年度中、高知市、四万十市、嶺北地域、香美市において通学路や公園を中心に青色回転灯パトロール活動を83回実施した。 ○ 青色回転灯車両によるパトロールをより効果的に実施するため、高知県警のFメールの不審者情報をパトロール実施会員に提供し、重点的なパトロールの支援を行った。 | 青色回転灯パトロールの実施回数はここ数年減少傾向にあったが、積極的な実施の呼びかけにより対前年比で増加した。(対前年度比+10回) | 警備のプロの目を生かした青色回転灯パトロール活動を、より積極的に推進するとともに、実施会員の増加を呼びかけ、活動の更なる活性化を図る。 | |
| | | 5 | 地域安全活動への積極的参加 | 県や県警が行う各種の地域安全活動等に積極的に参加し、安全・安心な街づくりに貢献する。 | 高知県安全安心まちづくり推進会議総会に出席。その他行事への積極的参画。 | | 県や県警が行う各種の地域安全活動等に積極的に参加し、安全・安心な街づくりに貢献する。 | |

事業者・団体等の令和5年度取組実績及び令和6年度の取組予定

注：重点項目欄(1 地域で子どもを見守ろう/2 特殊詐欺の被害を防ごう/3 高齢者などを事故や事件から守ろう/4 鍵かけ運動を進めよう/5 その他)

| 番号 | 団体等名称 | 重点項目 | 取組 | 令和5年度に行った取組 | | | 令和6年度に行う予定の取組 |
|----|--|--------|---------------------|---|---|---|--|
| | | | | 計 画 | 実 績 | 課 題 | |
| 30 | 高知県指定自動車学校協会 (協会事務局、県下教習所11校、約300名) | 3 5 | 教習所における高齢者交通安全対策 | 交通安全運動や教習所の一日開放行事にあわせ高齢者交通安全教室を開催した。 | 複数の教習所において高齢者交通安全教室を開催した。 | コロナ禍が落ち着いたことから、参加者の増加を図る。 | 複数の教習所において高齢者交通安全教室を開催する。 自治体関係者の同席を図る。 |
| | | | 5 | 「安全安心まちづくニュースの配付」 | 全11校に配布した。 | 計画通りに配布できた。 | 問題なし。 |
| 31 | 株式会社ドコモCS 四国高知支店 (39名) | 1 3 | 公的機関依頼に基づく防犯運動等への参加 | 官公庁が行う全国地域安全運動の活動等の諸活動への参加継続 | ・高知県警：高知県ネットワークセキュリティ連絡協議会研修会(オンライン研修会)への参加 ・高知県警、四国総合通信局主催「春のあんしんネット該当啓発活動」への参加 ・高知地区安全運転管理者協議会主催：交通安全キャンペーンへの参加等 | | 官公庁が行う全国地域安全運動の活動等の諸活動への参加継続 |
| | | | 3 | 社員向け各種呼びかけ | 各種研修・周知による社員およびその家族への啓発活動を継続 | ・社内イントラネットへの「安全衛生ニュース」の発行(毎月)、事務所への掲示 ・社内向け安全運転研修の実施 ・安全運転管理者協議会連合会より配布の「歩行者優先・飲酒運転撲滅宣言者」ステッカーの社有車への貼付 ・「安全安心まちづくニュース」の支店内周知の実施 ・各種デジタルツールを使用した安全に関する従業員教育の実施 | |
| 32 | 日本貸金業協会 高知県支部 (4名) | 2 3 | ポスターリーフレットの配布 | 金融トラブル被害防止に関する啓発資料を窓口等に備置、及び配布し、消費者等の被害防止・啓発に努める。 | 支部・行政機関の相談窓口等にて ・業務内容紹介及び消費者啓発リーフレット「一人で悩まずに」 ・貸付自粛制度パンフレット ・金融トラブル防止のためのQ&A BOOK ・金融ADR制度及びヤミ金融被害防止リーフレット等の啓発資料を備置し、配布した。 | | 金融トラブル被害防止に関する啓発資料を窓口等に備置、及び配布し、消費者等の被害防止・啓発に努める。 |
| | | | ホームページへの掲載 | 協会ホームページにて悪質業者の社名や手口を公表し注意喚起を行う。 (ホームページURL : http://www.j-fsa.or.jp) | 協会ホームページにて悪質業者の社名や手口を公表し注意喚起を行った。 協会ホームページに出勤講座の案内を掲載し、金融トラブル被害防止に係る啓発活動を推進した。 (ホームページURL : http://www.j-fsa.or.jp) | | 引き続き協会ホームページにて悪質業者の社名や手口を公表し注意喚起を行う。 協会ホームページに出勤講座の案内を掲載し、金融トラブル被害防止に係る啓発活動を推進する。 (ホームページURL : http://www.j-fsa.or.jp) |
| | | | 関係機関との連携 | 行政・消費生活センター・警察等関係機関と連携を図り、ヤミ金融被害防止対策等に努める。 成年年齢引き下げに伴う意見交換会を開催する。 | 行政・消費生活センター・警察等関係機関と連携を図り、ヤミ金融被害防止対策等に努めた。 成年年齢引き下げに伴う意見交換会は未実施であった。 | | 行政・消費生活センター・警察等関係機関と連携を図り、ヤミ金融被害防止対策等に努める。 |
| | | | 消費者等からの相談対応 | 消費者等からの貸金業務に関する相談・苦情・紛争解決・貸付自粛申告へ対応する。 消費者等からの相談等に応じ、ヤミ金融等、金融トラブル被害防止に努める。 貸付自粛制度に関するリーフレットの配布やポスターの掲示を行い、制度の訴求を図ると共に消費者等の被害防止、啓発に努める。 若年者金融トラブルホットラインにて若年者の相談の対応にあたる。 | 消費者等からの貸金業務に関する相談・苦情・紛争解決・貸付自粛申告へ対応した。 消費者等からの相談等に応じ、ヤミ金融等、金融トラブル被害防止に努めた。 貸付自粛制度に関するリーフレットの配布やポスターの掲示を行い、制度の訴求を図ると共に消費者等の被害防止、啓発に努めた。 若年者金融トラブルホットラインにて若年者の相談の対応にあたる。 | | 消費者等からの貸金業務に関する相談・苦情・紛争解決・貸付自粛申告へ対応する。 消費者等からの相談等に応じ、ヤミ金融等、金融トラブル被害防止に努める。 若年者金融トラブルホットラインにて若年者の相談の対応にあたる。 |
| | | 5 | 講師の派遣 | 各種団体等からの要請にもとづき金融トラブル・悪質商法被害防止、相談対応におけるカウンセリングの基本・家計管理支援等に関する講演・セミナーへ講師を派遣する。 | 各種団体等からの要請にもとづき金融トラブル・悪質商法被害防止・相談対応におけるカウンセリングの基本・家計管理支援等に関する講演・セミナーへ講師を派遣した。 | | 各種団体等からの要請にもとづき金融トラブル・悪質商法被害防止、相談対応におけるカウンセリングの基本・家計管理支援等に関する講演・セミナーへ講師を派遣する。 |

事業者・団体等の令和5年度取組実績及び令和6年度の取組予定

注：重点項目欄(1 地域で子どもを見守ろう/2 特殊詐欺の被害を防ごう/3 高齢者などを事故や事件から守ろう/4 鍵かけ運動を進めよう/5 その他)

| 番号 | 団体等名称 | 重点項目 | 取組 | 令和5年度に行った取組 | | | 令和6年度に行う予定の取組 | |
|----|---------------------------------|--------|--------------|---|---|---|-------------------------------------|---|
| | | | | 計 | 画 | 課 題 | | |
| 33 | 西日本電信電話株式会社高知支店 (5事業所、約470名) | 1 3 | 研修を通じた呼びかけ | 児童・生徒向けインターネット安心・安全利活用講座「e-ネットキャラバン」を実施 | 2023.10 2名 e-ネットキャラバン講師認定 2024.1 香美市F小学校での講座開催 2024.2 3名 e-ネットキャラバン講師認定 | ■e-ネットキャラバンの認知度向上 (高知市近郊の学校からのお申込みに加え、認知度向上を図り、県全域へ展開することで、ネット被害防止を図る) | 2024.4 K中学校での講座開催予定 | |
| | | | 2 | 特殊詐欺被害防止に向け、高知県警察本部と連携 | ・特殊詐欺被害防止に向け、高知県警察本部と連携 ・高知さんさんTVでの特殊詐欺撲滅PRを実施 | ・特殊詐欺被害防止に向け、1月15日(月)、高知県警察本部にNTT西日本高知支店からの「特殊詐欺被害防止啓発資料」の贈呈を実施 ・高知さんさんテレビ『さんさんPick Up』内で、高知県警察本部と一緒に特殊詐欺撲滅をPR | | 高知県警察本部と連携継続 |
| | | | 2 3 | 公式ホームページでの注意喚起 | NTT西日本ならびに高知支店の公式ホームページで、犯罪防止に向けた注意喚起 | ・特殊詐欺犯罪の防止に向けた取り組みを掲載 ・悪質な販売行為に注意 | | NTT西日本ならびに高知支店の公式ホームページへ注意喚起を掲載(継続取組) |
| 34 | 株式会社高知銀行 (48店舗) | 1 | 安全シェルター活動の実施 | 「子ども110ばんのぎんこう」のアピールを各支店へ指示して、公に広める活動をする。 | 営業店に「子ども110番のぎんこう」シールを貼付し、こどもの見守り活動を行なった。 | 活動時間が営業時間に限られ、下校時の対応が難しい。 | 本年度も継続実施する。 | |
| | | | 2 | 「認知症サポーター」養成 | 新入行員すべてに認知症サポーター養成講座を受講させる。 | 令和5年度は認知症サポーター養成講座は研修日程の都合より実施できなかった。現時点のサポーターは346名、また養成講座の講師役となれるキャラバンメイトは1名と前年と同数のままです。 | 営業店によって資格取得者のバラツキがあり、適正な人員配置が課題である。 | 令和6年度は昨年の新入行員36名と今年の新入行員39名全員に認知症サポーター養成講座を受講させる予定。 |
| | | | 5 | 行内報への掲載 | 行内報「あけぼの」に掲載し、意識啓発を行う。 | 行内誌「あけぼの」に安心安全まちづくりに関する記事を掲載し、行員の意識啓発を行なった。 | 隔月発行のため、記事掲載に余裕が少ない。 | 引き続き、行内報「あけぼの」に掲載し、意識啓発を行う。 |

事業者・団体等の令和5年度取組実績及び令和6年度の取組予定

注：重点項目欄(1 地域で子どもを見守ろう/2 特殊詐欺の被害を防ごう/3 高齢者などを事故や事件から守ろう/4 鍵かけ運動を進めよう/5 その他)

| 番号 | 団体等名称 | 重点項目 | 取組 | 令和5年度に行った取組 | | | 令和6年度に行う予定の取組 |
|----|--|--------|------------|-------------------------------------|---|--|---|
| | | | | 計 画 | 実 績 | 課 題 | |
| 35 | 四国電力(株)高知支店 四国電力送配電(株)高知支社、中村支社 | 1 3 | 地域見守り活動の実施 | ○検針員やお客さまと接する機会の多い従業員による見守り活動を実施する。 | <p>(委託検針員の取り組み)</p> <p>○人命救助に繋がった事例 「8月の炎天下の日、業務中に暑さで道端に座り込んでいる高齢男性を見つけ、自販機で飲料水を購入して飲ませた後自宅まで送り届け、後日、検針でご自宅を訪問した際には、ご家族から大いに感謝された。」</p> <p>○上記以外の取り組み事例 「(担当の検針区域内で)人里離れた一軒家を、安否確認を兼ねて訪問」「高齢者が危険な作業をしている際の手助け」「バス待ちで高い所に腰掛けた老人を見つけた際に、注意を促し見届けた」「高齢女性が原付バイクで右折時に転倒した場面に遭遇した際は、怪我の確認と安全な場所まで付き添いを実施」「地域の方への熱中症予防の声掛け」「日常業務を通じて、通学児童や高齢者訪問時の思いやりをもった声掛けを行った。また、異変を察知した際には、適時適切な手助けを行った。」「帰路を覚えていない高齢者の見届け」「高齢者運転の車両不具合(パンク)の手助けや脱輪したシニアカーの救出」</p> <p>(従業員の取り組み) 「自宅近くの電柱に車が衝突、物音に気付く現場に駆け付けたところ、既に運転者(酒臭い)は車内にいなかったため警察へ通報、助手席の同乗者を救護するとともに、警察への情報提供を献身的に行ったことで、事件解決に大きく寄与し警察から感謝されるとともに金一封を贈られた。」「朝の通勤時、通行量の多い横断歩道を目の不自由な高齢者が横断していたので声掛けをし、横断歩道を一緒に渡りおえ、感謝の言葉をいただいた。」「休日の病院窓口で、弱視と思われるご老人に代わり、本人から了解を得て、受付簿に代筆し受診カードを代理で提出した。」「休日の混雑する店舗レジで、高齢の女性が品物を探そうと店員に聞こうとするも混雑により声がかけれない様子だったため、代わりに話を聞き売場まで案内した。」「帰宅途中に買い物のため店舗に入ろうとしたところ、高齢の男性がふらつき目の前で転倒、自力で立ち上がれそうになかったため、怪我の有無を確認し、抱きかかえ、自身で立ち上がれるようになるまで、身体を支え続けた。」「帰宅途中に、歩道で横たわっている女性を通りすがりの方が介抱している現場に遭遇したため、警察に通報するとともに、警察到着まで介抱を続けた。」「休日に私用でドライブ中、高齢女性の運転する車が燃料切れで停車し渋滞が発生している場面に遭遇したため、女性の車を安全な場所まで押し移動させるとともに、近隣のガソリンスタンドから燃料を調達し給油を行ったことで、燃料切れおよび渋滞は解消した。」</p> | ○これまでは、お客さまの電力使用量確認のために検針員が現地を訪問し、メーターの指示数を確認していたが、通信機能を有するスマートメーターの設置完了により、その殆どが「自動検針」に移行したことから、「これまで活動の中心を担ってきた委託検針員の人数が減少」「検針方法の変更(離れた場所から使用量データを収集する無線検針への移行)」「メーターの遠隔操作が可能となったため、従業員による現場出向業務が減少」等により、お客さまを直接訪問する機会が減少し、従来と同様な取り組みの継続は困難となっている。 | 委託検針員の減少により従前の検針員を中心とした取り組みは困難となったが、引き続き、従業員による地域の見守り活動等の取り組みを継続実施する。 |

事業者・団体等の令和5年度取組実績及び令和6年度の取組予定

注：重点項目欄(1 地域で子どもを見守ろう/2 特殊詐欺の被害を防ごう/3 高齢者などを事故や事件から守ろう/4 鍵かけ運動を進めよう/5 その他)

| 番号 | 団体等名称 | 重点項目 | 取組 | 令和5年度に行った取組 | | | 令和6年度に行う予定の取組 |
|----|---------------------------------------|--------|---------------------------------|--|--|----------------|---|
| | | | | 計 | 画 | 課 題 | |
| 36 | 一般社団法人高知県産業廃棄物協会 (正会員115社、賛助会員15社) | 4 | 自主行動の強化 ○自助・共助活動 ○広報、啓発活動 | ①事業所、私宅も含めて「鍵かけの励行」等安全施策を呼びかける。 ②事業所内へポスターの掲示を行い、安全安心まちづくりのための啓発活動を行う。 | ①事業所はもとより、私宅も含めて「鍵かけの励行」等安全施策を講じた。 ②啓発ポスターを事業所内の目立つところに掲示した。 | 特になし | ①事業所、私宅も含めて「鍵かけの励行」等安全施策を呼びかける。 ②事業所内へポスターの掲示を行い、安全安心まちづくりのための啓発活動を行う。 |
| | | | 事業計画の樹立 | ①各会議等で、この会議の取り組み等の説明を行い、各委員・理事の意識を高める。 ②ポスターの掲示、会報「安全安心まちづくりだより」、「安全安心まちづくりニュース」等の配布等を継続して行う。 | ①理事会等において、この会議の取組等の説明を行った。 ②正面出入口に「高知県犯罪のない安全安心まちづくりポスター」を掲示した。 ③会報「安全安心まちづくりだより」、「安全安心まちづくりニュース」等の配布を行った。 | 特になし | ①各会議等で、この会議の取組等の説明を行い、各委員・理事の意識を高める。 ②ポスターの掲示、会報「安全安心まちづくりだより」、「安全安心まちづくりニュース」等の配布を継続して行う。 |
| | | 5 | 推進会議から要請、事務連絡に対する適切な対応 | 会報「安全安心まちづくりだより」、広報紙「安全安心まちづくりニュース」等を会員へ送付する。高知県安全安心まちづくり推進会議からの事務連絡は迅速に会員事業所へ通知すると同時に、要請事項に対して、誠実に実行する。 | ・会報「安全安心まちづくりだより」(令和5年度第1号)送付7/12 (令和5年度第2号)送付11/6 (令和5年度第3号)送付2/29 (令和5年度第4号)HP掲載3/4 ・「安全安心まちづくりニュース」(2023年度第1号)送付7/12 (2023年度第2号)送付11/6 (2023年度第3号)送付2/29 (2023年度第4号)送付2/29 | 特になし | 会報「安全安心まちづくりだより」「安全安心まちづくりニュース」は、会員へ迅速に周知するため、当協会HPに掲載する。高知県安全安心まちづくり推進会議からの事務連絡は迅速に、会員事業所へ通知すると同時に、要請事項に対して、誠実に実行する。 |
| 37 | 高知県自転車二輪車商協同組合 (約63名) | 1 3 | 交通安全ひろばへの参加 | 一部組合店による出張型自転車無料点検 | ○交通安全ひろばにおける来場者のうち、希望者に対して自転車を無償で点検し、必要に応じてアドバイスを行う。不備の箇所は修理(有償)を勧める。 | ○参加店舗数が少ない | 令和6年度も実施予定。 |
| | | | 一部組合店による自転車無料点検 | 持込み自転車の無料点検 | 一部の組合店が、期間限定で、来店者に対して、持込み自転車の無料点検を行い、必要に応じてアドバイスを行う。不備の箇所があれば修理(有償)を勧める。 | 参加店舗が少ない | 令和6年度も取り組み予定 |
| 38 | コカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社 ベンディング西四国支店 | 1 | 子どもの見守り活動 | 業務中(配送中、商品の補充中など)における子どもの見守りを実施する。 | 業務中(配送中、商品の補充中など)における子どもの見守りを実施し、異常時を認知したときは、関係機関等へ引き継いだ。 | | ○引き続き子ども達の安全を守る事を目的に啓蒙を実施。 ○危険発見、発生時には、関係する各諸団体とも連携し、子ども達を危険から守る活動を実施します。 |
| 39 | 株式会社四国銀行 [高知県内48店舗] | 2 3 | 振り込み詐欺の防止 | ①窓口、ATMコーナーでの積極的な声かけで振り込み詐欺被害防止を行う。 ②ATMコーナーには、犯罪被害防止のチラシ等を設置。 | ①窓口、ATMコーナーでの積極的な声かけで振り込み詐欺被害防止を行った。 ②お客さまの目に留まる場所に、犯罪被害防止のチラシ等を設置。 | 振り込み詐欺撲滅には至らず。 | ①窓口、ATMコーナーでの積極的な声かけで振り込み詐欺被害防止を行う。 ②ATMコーナーには、犯罪被害防止のチラシ等を設置。 |

事業者・団体等の令和5年度取組実績及び令和6年度の取組予定

注：重点項目欄(1 地域で子どもを見守ろう/2 特殊詐欺の被害を防ごう/3 高齢者などを事故や事件から守ろう/4 鍵かけ運動を進めよう/5 その他)

| 番号 | 団体等名称 | 重点項目 | 取組 | 令和5年度に行った取組 | | | 令和6年度に行う予定の取組 |
|----|--------------------------|--|---|---|--|--|--|
| | | | | 計 | 画 | 課 題 | |
| 40 | リコージャパン株式会社 高知支社 (社員78名) | 1 | 地域で子どもを見守ろう | 南海トラフ地震から地域の子どものため引き続きセミナー実施 お客様に事務所の減災・防災対策事例を見て頂き、会社やご家庭での身の守り方の参考にして頂く活動(ViCreA土佐の見学) | 2023年5月：南国市の保育者向けに開催された減災プロジェクトで使用される資料に関して、資料作成支援を実施(NPO減災教育普及協会様) 2023年12月：安芸地区の高校で開催された減災セミナーの資料作成支援を実施(NPO減災教育普及協会様) ・多くのお客様に会場頂き、社内の減災防災対策や備蓄品などを見学頂き、参考にして頂いた。 | ・自社主催で減災セミナーを開催する事が出来ず、NPO法人の活動支援を実施。セミナーを段取りする人員の不足。 | 社内の防災対策をお客様に見学頂く事で、南海トラフ地震対策の意識を高める事に貢献する 「こども110番のくるま」活動への協力を検討中 |
| | | | 2 | 特殊詐欺の被害を防ごう | ・セミナー開催(年2回開催予定)や訪問時に対策チラシを配布するなど、犯罪被害防止活動の実施 事業所内に「高知県犯罪のない安全安心まちづくりポスター」を掲示。 | 2023年7月12日 高知支社にてセキュリティ対策セミナー開催 2023年7月19日 四万十地区にてセキュリティ対策セミナー開催 様々なネット上の犯罪被害に対して、対策となる行動や商品の紹介ができた。 ・社内向け情報セキュリティ対策講座の受講促進 ・「安全安心まちづくりポスター」掲示 | ・新しいサイバー攻撃への対応と社員のセキュリティ意識向上 |
| 41 | 一般社団法人高知県建設業協会 (会員数441社) | 1 | 地域見守り活動の実施(嶺北支部) | 毎月20日前後に青色回転灯装備車両によるパトロール | ・青色回転灯装備車両によるパトロール ・会員による出社・退社時の見守り | ・会員、児童の減少 ・過疎化 | 毎月20日前後に青色回転灯装備車両によるパトロール |
| | | | 地域見守り活動の実施(高知支部) | 年4回(6月・9月・12月・3月)中心街地区で防犯パトロールを実施する | 6月・9月・12月・3月に中心街地区で、高知警察署にも協力いただき、防犯パトロールを実施した | | 年4回(6月・9月・12月・3月)中心街地区で防犯パトロールを実施する |
| | | | 地域安全活動の一環で児童見守り活動実施(伊野支部) | 朝の登校時、児童の見守りを地元の警察署、学校、PTA、近隣の住民と連携して行う。地区ごとに当番制にして団体の会員全員が参加する | 年間8月を除く毎月第3木曜日の朝、児童の登校時(7時~8時頃)に2名ペアで近隣の小学校通学路、また、奥羽団歩道などで児童の安全を見守る活動を実施 | 年間の当番表に基づきなるべく負担を少なく継続していく | 継続事業として次年度も同様に取り組む |
| | | | 地域見守り活動の実施(中村支部) | しまんと市民祭納涼花火大会にて防犯パトロールの実施 | 8月26日(土)会場周辺の防犯パトロールを実施した。(会員企業19名参加) | パトロール実施時間帯(効果的な時間がいつなのか) | 納涼花火大会(8月末)もしくは一條大祭(11月末)における防犯パトロール |
| | | | 地域見守り活動の実施(宿毛支部) | 毎年7月に行われる、やいと川花火大会における防犯パトロール | 花火大会が開催されなかったため、実施されなかった | | 同花火大会にて同様の防犯パトロール |
| 5 | 地域見守り活動の実施(宿毛支部) | 毎年10月に行われる市民祭宿毛まつり花火大会における防犯パトロール | 10月の地元市民祭で、会場と会場周辺を会員で防犯パトロールをした | 参加者数の伸び悩み | 同市民祭にて同様の防犯パトロール | | |
| | 防犯パトロール(高吾北支部) | 毎月1回 日を設定して3班で交代 | 1)越知地区 毎月第3金曜日3班で交代 延べ28名 2)佐川地区 出来る時に随時 延べ3名 3)仁淀川地区(旧吾川地区) 毎月25日3班で交代 延べ59名 | 実施できてない地区もある | 令和5年度と同じ | | |
| | 地域防犯活動年末防犯パトロール | 年末の商店街、繁華街を徒歩で巡回、放課後及び冬休み前の児童、生徒等へ夜間の防犯を呼びかける。また、地域住民にも呼びかけを行い、犯罪のない街づくりを目指す | 本年度は12月21日、いの町で実施。商店街等を1時間近く徒歩にて巡回。年末の防犯を呼びかけた。計12名が参加 | 管内の山間部では繁華街が無いので、人数が集約している町で実施している | 継続事業として本年度も実施の予定 | | |

事業者・団体等の令和5年度取組実績及び令和6年度の取組予定

注：重点項目欄(1 地域で子どもを見守ろう/2 特殊詐欺の被害を防ごう/3 高齢者などを事故や事件から守ろう/4 鍵かけ運動を進めよう/5 その他)

| 番号 | 団体等名称 | 重点項目 | 取組 | 令和5年度に行った取組 | | | 令和6年度に行う予定の取組 |
|----|---------------------|--------|-------------------------------------|---|--|---|---|
| | | | | 計 画 | 実 績 | 課 題 | |
| 42 | NPO法人高知県防犯設備協会 | 1 | ○児童の安全を守る活動 | ①登下校時の通学路安全活動としての旗振り誘導(月4回。午前・午後)朝倉小学校、朝倉第二小学校、朝倉中学校、周辺 | ①高知市朝倉小、朝倉第二小、朝倉中学校周辺の通学路で、登下校時の安全指導を実施(月4回。1回につき7～10人) | ○会員企業ミタニ建設工業株単独の取り組みだが、他会員企業等にいかを広げるかが課題。 | ○前年と同じ |
| | | | ○防犯パトロール | ○朝倉地区防犯パトロール(月2回。夕方1～2時間) | ○朝倉地区防犯パトロール(月2回。夕方1～2時間) | ○同上 | ○前年と同じ |
| | | | ○野市町みどり野地区子ども防犯パトロール(毎月第2土曜日。夕方30分) | ①野市町みどり野地区子どもパトロール(隔月第2土曜日夕方。防災防犯、交通安全)1回につき、子ども、保護者、自主防災防犯組織会員など約15名参加 会員企業くろしおジャパンが参画支援 ②パトロール参加者全員に、反射式リストバンドを配布・装着 | | | ○前年と同じ |
| | | 5 | ○高知市秦泉寺公園内パトロール | ○夜間の花火、焚火、騒音が住民の平穏な生活を害している実情があるので、住民有志で随時パトロールを実施(藤川理事が主催) | | | ○前年と同じ |
| | | | ○防犯カメラの設置促進・啓発活動 | ①県警との情報交換 ②自治体、町内会等に対し防犯カメラ設置の普及活動 | ①上田理事長が県警本部長と面会し意見交換を行った。また、南国署担当者及び香南市内町内会担当者との情報交換を実施。 ②高知市内のマンションに設置の防犯カメラ点検及び防犯診断を実施。 | ○事務局体制の充実が課題 | ○前年と同じ |
| | | | ○関係団体等主催の会議等参加 | | ①県市民暴力追放大会(出席 上田理事長) ②高知県安全安心まちづくり推進会議(出席 上田理事長、藤川理事) ③公益社団法人日本防犯設備協会主催の地域会議(出席上田理事長) | | ○前年と同じ |
| | ○セキュリティアパルト認定制度の実施 | | | | | ○防犯性の高い集合住宅が増加することで、防犯設備面で居住者の安全確保に貢献する | |
| 43 | セキスイハイム東四国株式会社 | 2 5 | 防犯・防災目的の警察との連携 | 防犯・防災目的の警察との連携 | 特殊詐欺被害防止のチラシを配布(オーナー向けの書類に同封)夜間の防犯を意識した外構計画 常夜灯の設置推奨 | 建築地によっては必ずしも採用にならない | ①特殊詐欺被害防止のチラシを配布(オーナー向けの書類に同封) ②夜間の防犯を意識した分譲地(外構計画)における常夜灯の設置標準化 |
| 44 | ダイドー・タケナカベンディング株式会社 | 2 | 特殊詐欺撲滅支援バンダー(自動販売機)の設置、推進 | 被害防止を呼び掛ける音声付自動販売機(ダイドードリンコ)を設置することにより、広告パネルとアナウンスで被害防止を呼び掛ける | 新規設置のご案内と既存設置先の管理を実施 | 設置先様のご理解とご協力がないと設置できない。 | 特殊詐欺の手口も増えてきているので、県警のアナウンスと共に、引き続き「特殊詐欺撲滅支援バンダー」の認知度向上と設置を推進する。 |
| 45 | 株式会社ほっかほっかフーズ | 1 5 | お弁当包装紙デザインの活用 | 令和4年度を受賞ポスターに内容をリニューアルし継続して取り組む。 | 高知県内ほっかほっか亭40店舗で、お弁当の包装紙のデザインを防犯ポスターとコラボしお客様へ提供した。 | | 令和5年の受賞ポスターに内容をリニューアルして継続。 |
| | | 1 | 子ども110ばんのいえ | 同様に継続する。ステッカーの色褪せがみられるので、新しいものへの交換を推奨する。 | 高知県内ほっかほっか亭40店舗に、安全シールドのステッカーを貼付した。 | | 同様に継続する。 |
| | | 1 | 子ども110ばんのくるま | 同様に継続する。車両入替の確認を行う。 | 社用車に子ども110ばんのくるまステッカーを貼付した。 | | 同様に継続する。 |

事業者・団体等の令和5年度取組実績及び令和6年度の取組予定

注：重点項目欄(1 地域で子どもを見守ろう/2 特殊詐欺の被害を防ごう/3 高齢者などを事故や事件から守ろう/4 鍵かけ運動を進めよう/5 その他)

| 番号 | 団体等名称 | 重点項目 | 取組 | 令和5年度に行った取組 | | | 令和6年度に行う予定の取組 | |
|----|-----------------------|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 計 | 画 | 実 績 | | |
| 46 | あいおいニッセイ同和損害保険(株)高知支店 | 1 | 地域見守り活動の実施 | 通学路安全の日の見守り活動 | 弊社最寄りの「高知市立昭和小学校」通学路での見守り活動 ※毎月第三木曜日 ※対象：小学生 | ほぼ予定通り実施 | 継続して取り組みます | |
| | | | 1 3 | ○地域見守り活動の実施 | ②県民交通安全の日の見守り活動 | ○弊社最寄りの「知寄町交差点」での見守り活動 ※毎月20日 ※対象：一般市民 | ○ほぼ予定どおり実施 | ○継続して取り組みます。 |
| | | | 1 | 安全運転エコドライブコンテスト | スマートフォンアプリを使い、安全運転、エコドライブの啓もう | 5月の一か月間、高知県在住の皆さまのご協力のもと、「安全運転・エコドライブコンテスト」を開催 | | 令和6年度も開催予定 |
| 47 | 損害保険ジャパン株式会社高知支店 | 1 | 黄色いワッペン贈呈事業 | ①2023年度も継続して当社の「交通事故傷害保険」附帯の黄色いワッペンを贈呈 ②環境に配慮して、ダイオキシンを発生させる可塑性を一切使用しないポリオレフィン素材を採用 ③2023年度 スローガン：「あぶないよ いそぐきもちに しんこきゅう」のポスター掲示 | 交通安全の啓発と交通事故防止を目的に高知県下の新小学一年生に「交通事故傷害保険」附帯の黄色いワッペンを贈呈。 昭和40年(1965年)より実施してきた継続事業であり、2024年で60年目となる。 | 継続して実施 | ①2024年度も継続して当社の「交通事故傷害保険」附帯の黄色いワッペンを贈呈 ②環境に配慮して、ダイオキシンを発生させる可塑性を一切使用しないポリオレフィン素材を採用 ③2024年度 スローガン：「わたるまえ わすれずかくにん みぎひだり」のポスター掲示 | |
| | | | 3 | 「安心で安全なクルマのある」暮らしの提供と「安心して運転でき、事故が起こらない」社会づくり | ①つながるライブレコーダー「Driving!」の更なる周知と件数アップ ②CM放映、社内ポスターの掲示など各種ツールを活用した認知度向上 ③法人向け「自動車事故防止スタンダードサービス」(体制分析・事故分析・従業員意識調査)を提供し事故防止体制をサポート | ①社員・当社委託代理店向けに社内研修を実施し、高知県におけるライブレコーダー市場の現状確認、必要性や販売手法等を周知 ②つながるライブレコーダー「Driving!」の件数アップが進展 ③CM放映、社内ポスターの掲示により認知度向上 ④高知県警と共同でチラシを作成・配布し事件事故防止を啓発し、同時にDriving!の認知度向上。 | 継続して実施 | ①つながるライブレコーダー「Driving!」の更なる周知と件数アップ ②CM放映、社内ポスターの掲示など各種ツールを活用した認知度向上 ③法人向け「自動車事故防止スタンダードサービス」(体制分析・事故分析・従業員意識調査)を提供し事故防止体制をサポート ④9月24日交通安全広場へ参加し交通事故防止を啓発。 |
| | | | 3 | 高齢者を事故から守る取り組み | ①高齢者を中心に事故防止、安全確認を呼びかけ、啓発チラシを配布。 ②「自動車事故防止スタンダードサービス」(体制分析・事故分析・従業員意識調査)を提供し事故防止体制をサポート ③「保険金請求詐欺」に対する啓発活動の実施。 | ①当社委託代理店へ啓発チラシを配布。 ②高齢者を中心に事故防止、安全確認を呼びかけ、高知県警と共同で啓発チラシを配布。 ③高知県警と連携して保険の請求を勧誘する業者の注意喚起チラシを配布。「高齢者を狙うケースが多い」「広域災害発生後は特に注意が必要」と注意喚起を呼びかけ。 ④高知県警と連携し「自転車運行リスク」チラシを配布。当社委託代理店へ移動保険「UGOKU」を推進するとともに、高齢者へ自転車事故についての注意喚起を実施。 ⑤損保協会と連携し街頭での高齢者交通事故撲滅啓発活動に参加し呼びかけ | 継続して実施 | ①高齢者を中心に事故防止、安全確認を呼びかけ、啓発チラシを配布。 ②「自動車事故防止スタンダードサービス」(体制分析・事故分析・従業員意識調査)を提供し事故防止体制をサポート ③「保険金請求詐欺」に対する啓発活動の実施。 |
| 5 | 無事故・無違反運動の実施 | ①年2回、社内無事故・無違反強化運動を実施し、社員ひとり一人の意識を向上。 ②アルコールチェック体制の厳格化 | ①6月1日～8月31日の期間において無事故・無違反運動を実施 ②11月1日～1月31日の期間において飲酒運転撲滅運動を実施 ③社員の意識も高まり、無事故・無違反を継続している。 ④高知地区安全運転管理者協議会の発行する無事故・無違反事業所章の交付をうける ⑤業務中に限らずマイカー通勤者も含め運転前のアルコールチェック体制を強化 ⑥高知安全運転管理者協議会が実施する「飲酒運転撲滅キャンペーン」に賛同。飲酒運転の根絶を目指し街頭にて啓発活動を実施。 ⑦「自動車事故防止スタンダードサービス」(体制分析・事故分析・従業員意識調査)を提供し事故防止体制をサポート | 継続して実施 | ①年2回、社内無事故・無違反強化運動を実施し、社員ひとり一人の意識を向上。 ②アルコールチェック体制の厳格化。 | | | |

事業者・団体等の令和5年度取組実績及び令和6年度の取組予定

注：重点項目欄(1 地域で子どもを見守ろう/2 特殊詐欺の被害を防ごう/3 高齢者などを事故や事件から守ろう/4 鍵かけ運動を進めよう/5 その他)

| 番号 | 団体等名称 | 重点項目 | 取組 | 令和5年度に行った取組 | | | 令和6年度に行う予定の取組 |
|----|---------------------|------|-------------------------------|---|---|---|---|
| | | | | 計 画 | 実 績 | 課 題 | |
| 48 | 全国共済農業協同組合連合会高知県本部 | 1 | JA共済アンパンマン交通安全キャラバン | 県内3カ所で開催 | 「JA共済アンパンマン交通安全キャラバン」が、歌や踊りを通じて幼児に交通ルールを伝えます。小さなお子さまに人気のJA共済イメージキャラクターアンパンマンたちといっしょに交通ルールを学び、親子で交通安全について考える時間を提供する。(3か所にて開催) ・ハルピアまつり(JA高知県春野支所)・JA高知県土長地区・JA高知県安芸地区 | ・天候に左右される ・アプローチ方法 | 同内容を県内3カ所で開催予定 |
| | | | 自転車交通安全教室 | 県内2カ所で開催 | 中学校や高等学校への交通事故対策活動として、警察などと連携したスケアド・ストレイト教育技法による自転車交通安全教室を実施しています。生徒の前でスタントマンが交通事故を再現し、危険性を疑似体験させることで、交通安全意識を醸成する。(県内2カ所で開催) ・窪川小学校・高岡中学校 | ・天候に左右される ・敷地の確保 ・年齢条件の考慮 | 同内容を県内2カ所で開催予定 |
| | | 3 | 自動車シミュレーター搭載車「すまいる号」による安全運転診断 | 県内2カ所で開催 | 自転車シミュレーターを搭載した自転車安全運転診断車「すまいる号」で、巡回型の自転車の安全運転診断を行っています。約5～10分程度の体験で自転車乗用中の交通ルールや危険予測を実践的に学習できます。(県内2カ所で開催) ・高齢者交通安全フェスタ(高知県警察本部) ・別府小学校 | ・行列ができた場合の対処方法 | 同内容を県内2カ所で開催予定 |
| | | | シルバー世代向け交通安全教室 | 県内1カ所で開催 | 高齢者の交通事故を防ぐために、「シルバー世代向け交通安全教室」を開催しています。JA共済オリジナルの「交通安全落語」で笑いながら交通安全の意識を高め、誰でも楽しく参加できる。(1カ所で開催) ・高齢者交通安全フェスタ(高知県警察本部) | ・同じ落語家の場合は、同内容となるため、スケジュール調整における選出が難しい。 | 同内容を県内1カ所で開催予定 |
| | | | 介助犬教室 | 県内1カ所で開催 | 交通事故などにより手足に障がいのある方の日常生活を介助する「介助犬」の育成・普及支援に取り組んでいます。社会福祉法人 日本介助犬協会の事業の支援や、NPO法人 日本補助犬情報センターへの研究支援、介助犬によるデモンストレーション「ガンバレ! 介助犬! JA共済はたらくワンワンランド!」を開催しています。 ・JA高知ビル | ・介助犬ユーザーとのスケジュール調整 | 同内容を県内1カ所で開催予定 |
| 49 | 株式会社ローソン高知(加盟店130店) | 2 | 特殊詐欺被害防止への取組み | 電子マネー購入の方に、高知県警察推奨の特殊詐欺被害防止に関する注意封筒の配布 | 各店の特殊詐欺防止の表彰事業(把握している案件)で、3件の実績。封筒配布は、3分の1ぐらいの稼働。 | 全時間帯の従業員に徹底できていないこともあり、声掛けできない点もある。 | 弊社が実施するオンラインエリア会から実開催に変更もあり、参加を呼びかけ、被害防止の啓発を実施。(年3回開催予定) |
| 50 | セコム高知株式会社 | 1 | 青パト用車両での防犯パトロール | 月2回を基本として、青色回転灯をつけた車両で、主に各学校近辺を主とした防犯パトロールを実施。 | 令和5年度は合計24回パトロールを実施。パトロール中特に事件・事故と見受けられるような事案は無かった。 | 業務上の合間をぬってのパトロールなので下校時間と合わない場合もある。 | 月2回を基本として、青色回転灯をつけた車両で、主に各学校近辺を主とした防犯パトロールを実施。 |
| | | | 子ども110番の家 | 「子ども110番の家」のステッカーを事業所(蔭絵台の事業所)に貼付済み。子どもへの防犯を意識し地域全体の安全に貢献する。 | 来訪件数としては微々たるものの近隣の子供からは落とし物についての相談等あり。 団地住民より、AEDを設置しているかについての問い合わせあり(当事業所はAED設置済)何かあれば相談場所としての認識を持って頂いていると思料されます。 | | 「子ども110番の家」のステッカーを事業所(蔭絵台の事業所)に貼付済み。子どもへの防犯を意識し地域全体の安全に貢献する。 |
| | | 2 | 振込詐欺被害の防止 | ATMでの補填業務対応時、通話をしながらATM操作をしているご利用客がいれば、耳を傾け、不振な言動などの兆候があればお声がけをして、ATM操作を中断していただく等の対応を行い、振込詐欺の未然防止を図る。 | 操作が不慣れな方への簡単な助言・補助はあったが、実事案として遭遇したことは無し。 | | ATMでの補填業務対応時、通話をしながらATM操作をしているご利用客がいれば、耳を傾け、不振な言動などの兆候があればお声がけをして、ATM操作を中断していただく等の対応を行い、振込詐欺の未然防止を図る。 |

事業者・団体等の令和5年度取組実績及び令和6年度の取組予定

注：重点項目欄(1 地域で子どもを見守ろう/2 特殊詐欺の被害を防ごう/3 高齢者などを事故や事件から守ろう/4 鍵かけ運動を進めよう/5 その他)

| 番号 | 団体等名称 | 重点項目 | 取組 | 令和5年度に行った取組 | | | 令和6年度に行う予定の取組 |
|----|---|----------------------------|---|---|--|-----|--|
| | | | | 計 画 | 実 績 | 課 題 | |
| 51 | 株式会社フジ・リテ イリング高知運営 事業部 (8団体・約450名) | 1 2 3 | 防災・安全フェア | フジグラン野市店にて、5月5日(子供の日に合わせて)に、生活館前平面駐車場にて、警察署・消防署・自衛隊の協力を受け、防災・防犯に関する体験型フェアを実施 | フジグラン野市店にて、5月5日(子供の日に合わせて)に、生活館前平面駐車場にて、警察署・消防署・自衛隊の協力を受け、防災・防犯に関する体験型フェアを実施 | | 5月5日(日)フジグラン野市店【防災・安全フェア】 いつ発生するか分からない災害に対して、地域のお客様と共に勉強して備える。参加して頂いたお客様にガラポン抽選会を実施し、より多くのお客様へ防災の意識向上を図ります。また、今回は地元企業の防災商品(段ボールベット・間仕切り)展示・販売も参加します。(担当窓口:フジグラン野市 副店長 中谷) 【東部エリア交通安全フェスタ】 2024年度も12月7日(土)or14日(土)に開催予定 高知県交通安全協会南国支部・香南支部・香美支部・安芸支部・室戸支部合同で東部エリア初の交通安全フェスタを当店駐車場にて開催。交通安全協会との協働による地域住民の方々の交通安全についての意識向上を図ります。(担当窓口:フジグラン野市 副店長 中谷) |
| | | | 「出前交番」 | フジグラン高知店ブースを設け、地域の方との情報交換の場を設ける。 | 高知南署の方々に店舗にて、地域住民からの相談事や情報交換を行う事で、地域の安心・安全の推進を図る。7月実施(担当窓口:フジグラン高知 副店長 高橋) | | 今年度については実施月を再確認し、複数回の実施を検討。 (担当窓口:フジグラン高知 副店長 萩野) |
| | | | 「安心安全 まちづくり」 | フジグラン高知店ブースを設け、地域の方との情報交換の場を設ける。 | 10月に実施。 地域の行政と弁護士の参画で、生活者のお悩み相談会を実施。 (担当窓口:フジグラン高知 副店長 萩野) | | 10月で計画。 地域の行政と弁護士の参画で、生活者のお悩み相談会を実施し、地域のお役に立てることを目的とする。 (担当窓口:フジグラン高知 副店長 萩野) |
| | | | 防災・防犯・交通安全フェア | フジ宿毛店にて、5月5日(子供の日に合わせて)に、Aゾーン平面駐車場にて、警察署・消防署・自衛隊・海上保安庁・JAFの協力を受け、防災・防犯に関する体験型フェアを実施 | 5月5日実施。 子供のみで200名参加、地域住民の方々の防災・防犯・交通安全についての意識向上を図った。 | | 5月5日実施で調整中。 災害リスクの高い宿毛地域において、各省庁や自治体との協働により実施することで、地域住民の方々の防災・防犯・交通安全についての意識向上を図る。 (担当窓口:フジ宿毛店 店長 重松) |
| | | | 「ATM詐欺防止キャンペーン」 | フジグラン高知店入口やキャッシュコーナー付近での声掛けを行う。 | 12月(歳末商戦に合わせて)に、『特殊詐欺防止のチラシ配布』を実施。 配布場所は、お客様出入口(南口玄関)ならびにATM付近 | | 日程は未定 最寄りの高知南警察署と連携を図り、実施に向けて計画していく (担当窓口:フジグラン高知 副店長 萩野) |
| 5 | ○高校生の犯罪防止啓発ポスターの掲示 | フジグラン高知店 ○店舗2階にてポスターの掲示 | ○11月に実施、店舗2階でのイベントスペースの壁面を利用し、イベントに来られた方にも閲覧していただくように掲示を実施。 | | ○日程は未定 ・最寄りの警察署と連携を図り、実施に向けて計画していく (担当窓口:フジグラン高知 副店長 萩野) | | |

事業者・団体等の令和5年度取組実績及び令和6年度の取組予定

注：重点項目欄(1 地域で子どもを見守ろう/2 特殊詐欺の被害を防ごう/3 高齢者などを事故や事件から守ろう/4 鍵かけ運動を進めよう/5 その他)

| 番号 | 団体等名称 | 重点項目 | 取組 | 令和5年度に行った取組 | | | 令和6年度に行う予定の取組 | |
|----|--------------------------------------|------|-------------------------|--|---|--|---|--|
| | | | | 計 | 画 | 課 題 | | |
| 52 | 株式会社ダスキン 中国・四国地域本部 (9団体、約400名) | 1 | 子ども見守り活動 | 弊社が高知県警察と協定締結している「地域見守り隊」のステッカーを事業用車両に貼付し、子ども見守り活動を行いながら、事件事故の被害防止活動を推進する。また、当該活動の中で、不審者、不審車両等を発見した場合は、早急に警察への通報活動を推進する。 | 事業用車両に「地域見守り隊」のステッカーを貼付し、子ども見守り活動を行い、更に、下校時間帯では、通学路及び周辺部での見守り活動を行った。 | 高知県警察本部及び管轄警察署からの事件事故の多発場所等、タイムリーな情報収集 | これまでの取組計画の内容を継続すると共に、課題となった高知県警察本部等との良好な関係を維持し、タイムリーな情報提供を受け、実のある子ども見守り活動を推進する。 | |
| | | | 2 | 特殊詐欺防止活動 | 弊社が製作する特殊詐欺被害防止「床マット」を活用した特殊詐欺被害防止の社会貢献活動を推進する。 また、高知県警察本部から配信される「あんしんFメール」の最新の特殊詐欺の発生状況等に関する内容をお客様に伝達し、特殊詐欺未然防止に対する啓発活動を推進する。 | 高知県警察本部から配信された特殊詐欺被害状況及び防止対策等の情報をお客様にタイムリーに伝達する活動を行った。特殊詐欺の現金払出及び振込の舞台として使用される金融機関、コンビニエンスストアのATMコーナー(足元)への「床マット」の新たな図案製作に向けた提案と協議に取組み、新デザインのマットを設置した。 | 「床マット」の設置箇所に対する販売促進 | ①特殊詐欺被害防止床マットを活用した特殊詐欺被害防止活動を推進する。 ②高知県警察本部から配信される「あんしんFメール」の内容を弊社の活動業務の中でお客様に伝達し、特殊詐欺未然防止に対する啓発活動を推進する。 ③特殊詐欺防止「床マット」の設置箇所拡大に向けた事業所に対する販売促進活動を推進する。 |
| | | | 3 | 高齢者など地域見守り活動 | 弊社がレンタル契約をしている各家庭へ、4週間の間隔で、定期的に訪問活動を行い、事件事故の未然防止に対する啓発及び注意喚起等の推進する。 | レンタル業務を通じて、お客様の各家庭を訪問し、事件事故の未然防止等のチラシを配付する啓発活動を行った。特に、高齢者の独居者には直接声をかけをしながら、要望等の意見を汲み上げる活動も行った。 | 高齢者世帯の在宅時間に応じた柔軟な対応と隣家・隣室の居住者に対する協力依頼 | これまでの取組計画の内容を継続し、高知県警察本部等から事件事故の未然防止対策に関するタイムリーな情報提供を受け、高齢者宅を訪問するなど地域見守り活動を推進する。 |
| | | | 5 | 地域美化活動 | 弊社は、創業以来「身近に、未来にエコのタネまき」という環境スローガンのもと、各地域本部エリア及び加盟店の事業所単位で定期的に地域のゴミ拾いの社会貢献活動を推進する。 | 計画的かつ定期的に、各地域所在の公園及びその周辺部におけるゴミ拾い活動を行った。 | 「タバコの吸い殻、空き缶等のポイ捨て禁止」をテーマとした広報活動及び広報紙、ポスター等の掲示 | 地域での美化活動を推進する。 |
| 53 | ミタニ建設工業 (株) | 1 | 地域見守り活動の実施 | 会社周辺の通学路における児童等の見守り活動の実施計画 (毎月1.10.20.25日の4回実施) | 高知市針木地区にて通学路(朝倉第二小学校ほか)における児童等の見守り活動を実施した。 (毎月1日、10日、20日、25日に実施) | 習慣化はしているが慣れによる活動意欲の低下(決まった参加者が中心) | 高知市針木地区にて通学路(朝倉第二小学校ほか)における児童等の見守り活動を実施。 (毎月1日、10日、20日、25日に実施) | |
| | | | 地域見守り活動の実施 | 会社周辺の通学路における青色回転灯装備車両による防犯パトロールを実施計画 (毎月1日、10日、20日、25日の4回実施) | 高知市針木地区にて通学路(朝倉第二小学校ほか)における青色回転灯装備車両による防犯パトロールを実施した。 (毎月1日、10日、20日、25日に実施) | 特になし | 高知市針木地区にて通学路(朝倉第二小学校ほか)における青色回転灯装備車両による防犯パトロールを実施予定。 (毎月1日、10日、20日、25日に実施) | |
| | | | 安全シェルター活動(子ども110番の車)の実施 | なし | ①所属の営業所、現場事務所に、安全シェルターのステッカーを貼付した。 ②自社キャラクター「やいろちゃん」の安全シェルターステッカーを作成し、順次貼り替えを行う。 | 今後、貼付箇所を増やしていく | 引き続き現場事務所への(子ども110番ステッカー)掲示を予定 | |

事業者・団体等の令和5年度取組実績及び令和6年度の取組予定

注：重点項目欄(1 地域で子どもを見守ろう/2 特殊詐欺の被害を防ごう/3 高齢者などを事故や事件から守ろう/4 鍵かけ運動を進めよう/5 その他)

| 番号 | 団体等名称 | 重点項目 | 取組 | 令和5年度に行った取組 | | | 令和6年度に行う予定の取組 | |
|----|--------------------------------|------|-------------|--|---|---|--|--|
| | | | | 計 画 | 実 績 | 課 題 | | |
| 54 | 高知ヤクルト販売株式会社社員・ヤクルトスタッフ(約250名) | 2 | 特殊詐欺被害防止活動 | 南国警察署と連携し南国市、香南市、香美市のお客様に特殊詐欺被害防止のチラシを配布 | 南国市、香南市、香美市を担当するヤクルトスタッフに期間中約3,000軒にチラシを配布、特殊詐欺被害防止を伝えて回った。 | 期間内にチラシを配布できない所もあった。 | 継続して実施。10月の全国地域安全運動と連動して実施予定。 | |
| | | | 2 3 | 地域見守り活動の継続実施 | お届け時に担当地域を回る中で何か変化(いつもと違うこと)があれば会社、民生委員に連絡をする。 | お届け時に腕章をつけ地域を回った。ヤクルトスタッフが地域の方を助け家族の方から感謝の言葉をいただいた。 | 全員が腕章をつけていない。意識に個人差がある。 | 引き続き腕章をつけて見守り活動を行う。 |
| | | | 5 | 火災予防運動参加 | 春と秋の火災予防運動に南国消防署と連携しお届け時にチラシを配布。 | 南国市を担当するヤクルトスタッフに期間中約1,200軒にチラシを配布、火災警報器の設置・点検・交換など伝えて回った。幼年消防クラブ防火演奏会にも参加。 | 期間内にチラシを配布できない所もあった。 | 今年度も火災予防運動に参加予定。 |
| | | | | 火災予防運動参加 | 高知市消防局とも連携し桂浜地区、あさくら地区、五台山地区、城北地区で火災予防運動に参加、お届け時にチラシを配布。 | 高知市南消防署管内桂浜地区のお客様に約900軒、中央消防署管内あさくら地区のお客様に約1,400軒、東消防署管内五台山地区のお客様に約1,500軒、北消防署管内城北地区のお客様に約1,200軒のチラシを配布し火災警報器の設置・点検・交換などを伝えて回った。3月に桂浜地区では高知市消防から依頼があり130軒のアンケートを実施。 | 留守宅のお客様に十分にチラシを配布できていない。 | 継続して実施、11月に1センター、3月に1センターずつ活動地区を増やす予定。 |
| 55 | 一般社団法人高知県ハイヤー協会 | 1 | 事業計画に記載(明記) | 総会、理事会で確認 | 総会、理事会で事業者を確認 | | 事業計画に記載(明記) | |
| | | | 2 | 県警よりの連絡を受付全事業者に連絡 | | 県警よりの連絡を受付全事業者に連絡 | FAX メールのない事業者には連絡出来ない | 県警よりの連絡を受付全事業者に連絡 |
| | | | 3 | 事業計画に記載(明記) | 総会、理事会で確認 | 総会、理事会で事業者を確認 | | 事業計画に記載(明記) |
| 56 | ヤマト運輸株式会社高知主管支店 | 1 | 安全教室 | 小学校で夏休みに子供安全教室 | ●高知市内の小学校児童クラブから子供安全教室の依頼を受けて実施。(8回実施) | 夏休みに実施するので熱中症対策で悩む | ●今年は少しでも多く安全教室を実施 | |
| | | | 3 | 大豊町における地域見守り活動の実施 | お買い物便で地域の高齢者の見守り | ●大豊町のスーパーやお店にお客様から注文をお届けした際に安否確認や困りごと等を聞き何かあれば役場に報告をする。すぐできる簡単なことはドライバーが対応。 ●配達時に、蛍光灯の交換を相談されたので対応。 | 定期的に届くお客様は良いが荷物が届かないお客様宅に場所によっては業務中に忙しく1件1件が遠い為伺えない。 | ●大豊町だけでなくエリア拡大で土佐町も実施予定。現在町長と相談中。 ●買い物便だけでなく普通の集荷、配達時でも高齢者宅に伺った際に、積極的な声かけ活動の実施。 |
| | | | 人命教護 | 地域のお客様に寄り添う | ●6月にお客様が自転車で走行中に川へ転落した事故に関して、ドライバーが川に飛び込み救護して高知北消防署署長から表彰 ●軽自動車中央分離帯に乗り上げ横転する交通事故が発生したとき、営業所員とともに119番通報し、女性を救出すると同時に交通整理をした事で、消防局長から表彰された。 | | ●今まで通り地域のお客様に寄り添い安心、安全、信頼を築く | |

事業者・団体等の令和5年度取組実績及び令和6年度の取組予定

注：重点項目欄(1 地域で子どもを見守ろう/2 特殊詐欺の被害を防ごう/3 高齢者などを事故や事件から守ろう/4 鍵かけ運動を進めよう/5 その他)

| 番号 | 団体等名称 | 重点項目 | 取組 | 令和5年度に行った取組 | | | 令和6年度に行う予定の取組 |
|----|-----------------------|--------|-------------------------------|--|---|--|--|
| | | | | 計 | 画 | 実 績 | |
| 57 | 有限会社四国浄管 [社員20人] | 1 | 防犯CSR活動として、「防犯カメラ設置支援補助金」の広報 | 令和5年度版に修正したチラシを作成し、5月に県警本部に提出する。 県警本部から広く自治体、教育委員会、民間へ配布してもらい県民の皆様にも広報する。 | 「防犯カメラ設置支援補助金」のチラシを3000部作製、5月に県警本部に提出した。 | 警察の各部署のみに留まらず、自治体、教育委員会など各種団体他、民間企業にも案内する。 | 令和6年度版に修正したチラシを作成し、4月に県警本部に提出する。 自治体、教育委員会など各種団体他、民間企業へも配布し案内する。 |
| | | 5 | 清掃、緑化などのボランティア活動 | 月1回の清掃活動 弊社、円行寺営業所周辺(県道270号周辺) 道路沿いの草刈り、ゴミ拾い、側溝の掃除(落ち葉や土砂の除去) | 毎月末の土曜日の午前7時～7時30分の間に計画通り清掃活動を行った。 SNSで活動を発信した。 | 社員15名程度で行っているが、地域の方にも参加いただき、久万川周辺の環境を地域の皆様とより良くしていきたい。 | 令和6年度も継続して、毎月末の土曜日午前7時～7時30分の間に清掃活動をする。 |
| 58 | 富国生命保険相互会社高知支社 | 1 2 | ながら見守り運動の推進 特殊詐欺被害防止活動への参画 | ・高知支社の職員がながら見守り運動の反射材を着用し啓発 ・昨年に引き続きちらしやポケットティッシュ、うちわを作成し県内イベントで県警察と共同配布 | ・反射材を装着し日常業務に従事していた ・見守り啓発のCM撮影に参加 ・よさこい祭り時にうちわを配布し好評を得た | 高知市内は職員の数も確保できるが、人数が少ない市外地の取組が薄くなっていたこと | 令和5年度の取組を継続するとともに、高知市外へのアプローチを強化していく |
| 59 | パナソニックマーケティングジャパン株式会社 | 1 | 社用車による子供見守り活動 | 普段の業務の中で「ながら防犯パトロール」 | 通常の業務の中で実施する | | 継続活動 |
| | | 2 | 防犯機能付き電話の貸出 | 防犯機能付き電話を高知県警察へ貸出し、高知県警察が開催する地域のセミナー講習会で説明。 高知県内各署12台/庁舎5台/県警本部1台 計18台配置 | 高知県内各署12台/庁舎5台/県警本部1台 計18台 | | 継続貸出 |
| | | 3 | 特殊詐欺被害防止に向けた啓発活動 | 高知県警察と協働で特殊詐欺被害防止広報啓発チラシ作成と配布。 | 高知県警察:5,000枚、パナソニック専門店5,000枚、量販店1,000枚配布 | | 継続活動 |
| | | 3 | 重大事件、重大事故発生時のドライブレコーダーのデータ提供 | 重大事件、重大事故が発生した場合、社用車のドライブレコーダーのデータを提供 | 重大事件、重大事故の問い合わせ0件 | | 継続活動 |
| 60 | 株式会社エフエム高知 (約15人) | 1 | 新小学1年生への防犯ブザー寄贈 | 地域に根ざすメディアとして、児童を卑劣な犯罪から守るために高知県内の小学校へ入学する新小学1年生全員に防犯ブザーを配布。 | 協賛企業の皆様とともに、エフエム高知から高知県教育委員会を通じて、2024年4月に高知県内の小学校へ入学した新小学1年生全員へ防犯ブザーを寄贈した。 | | 毎年同様に、協賛企業の皆様とともに2025年4月に高知県内の小学校へ入学する新小学1年生全員に防犯ブザーを寄贈する。 |
| | | 1 | ラジオによる啓発スポット放送 | 防犯ブザー寄贈に加え、ラジオによる啓発スポット放送を行い、地域全体で犯罪抑止の目を光らせ、子どもたちを犯罪から守る。 | ラジオにおいて「子どもたちを犯罪から守ろう」という啓発スポット放送を行い、地域全体で子どもたちを犯罪から守ることができることを目指して啓発活動を実施した。 | | 毎年同様、防犯ブザー寄贈に加え、ラジオによる啓発スポットの放送を行い、地域全体で犯罪抑止の目を光らせ、子どもたちを犯罪から守ることができるように啓発活動を実施する。 |